

京古本や往来

ジャカルタの古本屋

渡部 忠世

ジャカルタの最近の変貌はまことにめざましい。幹線道路網、オフィスと商店街、ホテルと高級住宅街は、年ごとにそのたまたまを変えて、大都会の外観をととえつつある。街は車であふれ、最新のファッションで着飾った若者たちが目につく。

変化は出版市場においても顕著である。紙質、印刷、装丁のいずれをとっても、先進国のものに余り遜色のない書籍や雑誌が、次々と市場に出廻るようになってきている。書店数も年ごとに増加し、また、新設のホテル、スーパーマーケットには例外なく書籍コーナーが設けられている。そういうコーナーで目につくのは、グラビヤ写真を満載した家庭画報やファッション誌の多いことである。

ジャカルタでは、表通りに店を構えた古書専門店を探すのは困難である。しかし、ジャカルタは、オランダ植民地以来、出版市場のセンターであったわけで、現在なお、多量の古書が「眠って」いることも確かである。これを商業ベ

ースに乗せているひとつのケースとして、必ずしも店を構えているわけではないが、特定の顧客をもつ仲介業者が存在している。

私どもの研究センターが、今年度から、東南アジア各国の現地語資料を系統的に蒐集・整理するというプロジェクトを開始したという経緯があつて、この春、このような書籍商の一人と会う機会があつた。仮りにブデマン氏と呼んでおくが、四十代半ばの働き盛り、居住はジャカルタ市西北のジャワ

季刊
第22号
京都古書研究会
発行

〒604 京都市中京区ル
東洞院角業協同
京都府古書籍商組合内
振替 京都22132門
年間購読料 500料
（送料込）
頒 価 150円

から四分の一程度の価格で扱われている場合もあつて、思わぬ「掘り出し物」が含まれているという感じであつた。

ブデマン氏の話では、顧客のうち「上得意」は、日本人を含めて外国のインドネシア研究者らしい研究機関である。また、顧客の要望に応えて該当する書籍を入手するために、蔵書家（多くは、オランダ時代に教育を受けた字者や長老政治家、ないしはその遺族）の蔵書が売りに出されるといふ情報に注意し、いち早くそれに対応するよしであつた。

どうやら、われわれの研究センターも「上得意」と考えられたよう

で、ブデマン氏からは、その後、しばしば、蒐集リストが送られてきている。ともあれ、長い旅路を経て私どもの研究センターにおさめられることになる古書籍、その生命をたしかめ、よみがえさせるのは、私どものこれからの任務ということになる。

（筆者略歴）
京都大学教授・京都大学東南アジア研究センター所長
主な著書

「稲の道」（日本放送出版協会）
「アジア稲作の系譜」（法政大学出版局）

から四分の一程度の価格で扱われている場合もあつて、思わぬ「掘り出し物」が含まれているという感じであつた。

古書のご整理は 京都古書研究会加盟店

- 赤尾照文堂 中京区西橋本二丁目一五八
- 石川古本店 左京区一香寺里の繁2の12 電話一五二九九
- 井上書店 左京区田中前町一〇一 電話七八一三三三
- キクオ書店 中京区南門町通太土上ル 電話二二一七六三
- 其田中 中京区西通三路北 電話二二一九七
- 沢田書店 上京区馬場通今出川上ル 電話五五一〇五三三
- 三密堂書店 下京区寺町通仏光寺 電話三一九六六
- シルヴァン書店 下京区私市通東陽院前 電話二一八七三
- 出町と衣笠善書堂 衣笠店 電話四六二一三三三 出町店 電話三二一三七
- 大岡書店 中京区寺町通小路下ル 電話二一〇六八五
- 竹岡書店 左京区藤原通八幡バス停前 電話七六一七五
- 谷方書店 下京区七条通堀川 電話二一七九五
- 東山書店 北区小山内通町野町 電話九一九〇七
- 外山書店 左京区北田川久保町64の5 電話〇一六二二七
- 萩屋書店 上京区北九通上御霊前下ル 電話二一三二二
- 福田屋書店 左京区田中里ノ前町55 電話七八一三三三
- 藤井文政堂 下京区寺町通堀川上ル 電話三五一九三三
- 藤原北御所書房 上京区今出川通町野町 電話二一五九八
- 文藻堂 中京区南門町通太土上ル 電話二二一九九
- 八木書店古書部 中京区九太町 電話八二一三九〇
- 山崎書店 伊予区東原通堀川町22 電話四一四七七
- （株）臨川書店大阪店 大阪府北区田町一丁目六番二号 電話〇六三三七四一・三三〇〇

「京都の貸本屋のいくつつか」

ピーター・コーニツキー

一国の、あるいは一時代の読書趣味を調べるにあたって、もっぱら出版者側の資料のみを考慮するとすれば、はなはだしく事実をゆがめることになるだろう。政府当局の忌諱にふれそうなもの、たとえばソルジェニツインの小説など、が写本で流通しているソ連や、貸本屋に対して嚴重な取り締りをしてきた・八世紀のジュネーヴや、大名の御家騒動に関する写本が貸本屋を介して大いに流通していた江戸時代の日本の場合などであれば尚更のことである。

また、このような極端な場合でなくとも、実際にどういふ本がどこで読まれていたかという問題を考えようとするれば、出版目録の類をみるよりも、世界のほとんどの国で営まれていた貸本業に関する資料、とくに貸本屋の蔵書目録をみるほうが、はるかに有効である場合が多い。実際、フランス、スウェーデンなどの貸本屋では、目録を印行しているものも少なからずあった。また日本であれば、たとえば帝國憲法発布の頃の読書趣味を調べようとするれば、神田にあった東京貸本社の『貸本書籍目録』

(明治二十二年十月改正第三版)などにまざる資料は少ないと思われる。しかし、私は算間にして江戸時代の貸本屋が目録を出した例を知らない。そのうえ、いくつつかの特殊な場合を別とすれば、営業年代や規模など、貸本屋の実態をあきらかにする資料は、はなはだ乏しいのである。

では、どういふ資料に頼るか。今のところ、貸本屋の商印が押しつたと断定しうる古書を、一冊一冊たんねんにしらべてゆくしか手はないのである。宗教教授らによって出版事情についての研究がかなりすすめられている京都の場合も同じことである。

そこで、本誌面をかりて紹介してみたいのは、私が今までそのような方法で集めてきた情報のうち、主として海外の図書館の資料にもとづくものである。これは意外に膨大な量なのである。貸本屋の本というものは、垢がついたりばらばらになったりしやすいので、よく読まれるものほど廃棄され、反故として売却されてしまう可能性

が高くなる運命にあった。そのような絶えざる「消耗」がすすんでいく過程において、たまたま開国という事態になり、外国人が大勢来日するようになった。その外国人のうち、日本の木版本を珍しがって沢山持ち帰った者も多かった。そのなかに元貸本屋もちのものも少なくなかったのである。その本がのちに各国の国立・王立図書館などに入ったりするのである。たとえば、明治十二年に来日したスウェーデンの探険家ノルデンショールドのコレクションがスウェーデン王立図書館に、またイギリスの外交官として幕末以来日本に来ていたサトウやアストンのコレクションが大英図書館やケンブリッジ大学附属図書館に所蔵されている。このいわば偶然な外国人との出会いによって、かなり多くの貸本が「消耗」の過程をピタリと止めて保存されるに至ったのである。以下、このような資料が語るところを中心に、京都のいくつつかの貸本屋を紹介したい。

が、既刊の江戸・明治の書林目録類にもみえず、あるいは売却や貸本を主とした小営業であったかもしれない。なお後考を要す。

小開物屋新助
スウェーデン王立図書館蔵の『広益俗説弁』(雑記、十六冊、大坂・加賀屋善蔵求版、文化九年刊)各冊に「小間新」の印や貸本に関連する種々のラベル(図参照)がみえる。同じ印・ラベル等が京都府立総合資料館蔵の『諸芸独自慢』(浮世草紙、天明三年刊)、京大文学部図書館蔵の『浮世床』(興付けなし)、天理図書館蔵の『両剣奇遇』(読本、安永八年刊)、旧頼小入蔵の『旧観帖』(滑稽本、『本道楽』一卷二号、昭二参照)等にもみえる。

伊勢庄
同館蔵の『一閑人』(読本、四冊、大坂・和泉屋吉兵衛板、文化元年刊)見開きに、「京書林伊勢庄/貸本」とある商印がみえる。井上隆明著『近世書林板元総覧』(昭和五十六年)に出る、宝暦から寛政年間にかけて出版を営んだ鳥丸通の伊勢屋庄助と同一人物か。

大平堂(太平堂)
大英図書館蔵『日本山海名産図絵』(巻五のみ、大坂・塩屋卯兵衛ほか板、寛政十一年刊)の見開き及び奥付けに、「建仁寺町/四條下ル/大平堂」という商印がみえられている。これと同じ印が、京

都府立総合資料館蔵「新編水滸画伝」にもおされており、その書には、大平堂より「御得意様」に宛てて、「楽書無用又貸御断」の貸本屋特有のラベル(巻四十前表紙見返し)や「木村太平堂/花百十五号/全部十冊」というような整理札がはられている。尚、大平堂のラベルや整理札が同じ京都府立総合資料館蔵『八丈伝』、『絵本通俗・国志』、『俊傑神稲水滸伝』(板本、明治十九年の活字奥付け)にもみえる。

伏見屋大治郎
ハーバード・燕京図書館蔵『通俗赤繩奇縁』(読本、四冊、京・銭屋三郎兵衛板、宝暦十一年刊)に、「書林/古本売買所/衣棚丸太町/伏見屋大治郎」という商印が各冊二回程押してある。書林が、同じ商印を一冊に複数回押すのは、他の諸例に鑑みても、貸本営業用であると判断してはば差し支えな

藤屋忠兵衛
慶応大学図書館蔵『御前義経記』(浮世草紙、八冊、大坂・大富三郎助ほか板、宝永六年刊)巻一前表紙見返しに、「古本新本売買/寺町五上ル町東側/藤屋忠兵衛/軍書平カナ借シ本仕候」というラベルがはられている。井上氏前掲書や矢島玄亮著『徳川時代出版者出版物集覧』(昭和五十一年)によれば、藤屋は延宝一・天明年間、出版も行ったが点数は少ない

大英図書館蔵『日本山海名産図絵』(巻五のみ、大坂・塩屋卯兵衛ほか板、寛政十一年刊)の見開き及び奥付けに、「建仁寺町/四條下ル/大平堂」という商印がみえられている。これと同じ印が、京

都府立総合資料館蔵「新編水滸画伝」にもおされており、その書には、大平堂より「御得意様」に宛てて、「楽書無用又貸御断」の貸本屋特有のラベル(巻四十前表紙見返し)や「木村太平堂/花百十五号/全部十冊」というような整理札がはられている。尚、大平堂のラベルや整理札が同じ京都府立総合資料館蔵『八丈伝』、『絵本通俗・国志』、『俊傑神稲水滸伝』(板本、明治十九年の活字奥付け)にもみえる。

伏見屋大治郎
ハーバード・燕京図書館蔵『通俗赤繩奇縁』(読本、四冊、京・銭屋三郎兵衛板、宝暦十一年刊)に、「書林/古本売買所/衣棚丸太町/伏見屋大治郎」という商印が各冊二回程押してある。書林が、同じ商印を一冊に複数回押すのは、他の諸例に鑑みても、貸本営業用であると判断してはば差し支えな

藤屋忠兵衛
慶応大学図書館蔵『御前義経記』(浮世草紙、八冊、大坂・大富三郎助ほか板、宝永六年刊)巻一前表紙見返しに、「古本新本売買/寺町五上ル町東側/藤屋忠兵衛/軍書平カナ借シ本仕候」というラベルがはられている。井上氏前掲書や矢島玄亮著『徳川時代出版者出版物集覧』(昭和五十一年)によれば、藤屋は延宝一・天明年間、出版も行ったが点数は少ない

大英図書館蔵『日本山海名産図絵』(巻五のみ、大坂・塩屋卯兵衛ほか板、寛政十一年刊)の見開き及び奥付けに、「建仁寺町/四條下ル/大平堂」という商印がみえられている。これと同じ印が、京

都府立総合資料館蔵「新編水滸画伝」にもおされており、その書には、大平堂より「御得意様」に宛てて、「楽書無用又貸御断」の貸本屋特有のラベル(巻四十前表紙見返し)や「木村太平堂/花百十五号/全部十冊」というような整理札がはられている。尚、大平堂のラベルや整理札が同じ京都府立総合資料館蔵『八丈伝』、『絵本通俗・国志』、『俊傑神稲水滸伝』(板本、明治十九年の活字奥付け)にもみえる。

伏見屋大治郎
ハーバード・燕京図書館蔵『通俗赤繩奇縁』(読本、四冊、京・銭屋三郎兵衛板、宝暦十一年刊)に、「書林/古本売買所/衣棚丸太町/伏見屋大治郎」という商印が各冊二回程押してある。書林が、同じ商印を一冊に複数回押すのは、他の諸例に鑑みても、貸本営業用であると判断してはば差し支えな

藤屋忠兵衛
慶応大学図書館蔵『御前義経記』(浮世草紙、八冊、大坂・大富三郎助ほか板、宝永六年刊)巻一前表紙見返しに、「古本新本売買/寺町五上ル町東側/藤屋忠兵衛/軍書平カナ借シ本仕候」というラベルがはられている。井上氏前掲書や矢島玄亮著『徳川時代出版者出版物集覧』(昭和五十一年)によれば、藤屋は延宝一・天明年間、出版も行ったが点数は少ない

とのことである。

小林正五郎

京都府立総合資料館蔵『慣風物語』(読本、五冊、奥付け無し)巻二裏に、「書籍貸本/中立売通/小川東へ入/小林正五郎」という商印がおされている。ちなみに同じ本の巻五に「諸雜誌貸本屋沢田本店」という住所無しの木版ラベルもはつてある。

菱屋徳兵衛

同館蔵『半月夜話』(読本、前編五冊奥付け無し。後編五冊の文政十四年の奥付けに、「割刷浪花二・三・四巻井上治兵衛」とある)は、前編巻一の見開きと後編巻一の裏に、「書文陽堂」の商印が押してある。また後編巻一の裏表紙見返しに、「京都書林御書物仕人所古本売買仕候/神書仏書儒書歌書医書唐本和節用類百人一首類/西堀川中立売下ル/家主文陽堂/菱屋徳兵衛」という木版広告ラベルも貼られており、これらのことから菱屋は貸本屋も営んでいたとみてよい。井上氏前掲書によれば、同店は、文政一弘化年間、出版もしていたようである。尚、本書には「貸本/本佐」その他のラベル・商印もあり、貸本屋から貸本屋へと転々していた運命がしのばれる。

橘屋治兵衛

大阪大学徳徳堂文庫蔵『本朝神社考』(最終巻欠)の表紙に、「京書林/堺町通夷川上/橘治」という商印とともに千支印や整理番号(千

四百番)がしるされたりラベルが貼られている。

前掲の井上氏や矢島氏の書によれば、橘屋治兵衛は寛永以来江戸時代を通じて出版業を営んだとある。

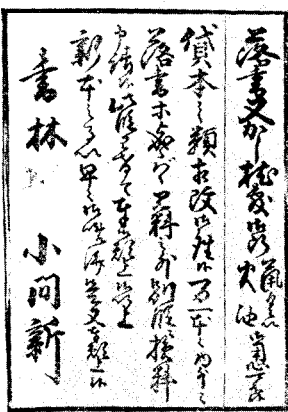
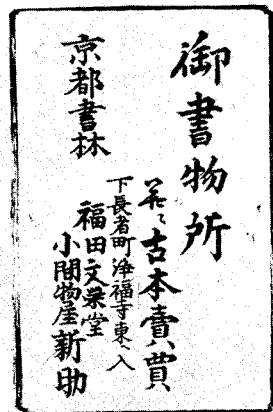
商印の住所により、橘治は、この著名な書林と同定しうる。

神戸氏

天理図書館蔵『朝顔日記』(読本、十冊)、「各邦書籍発兌浪花三木佐助梓」年代無し各冊の表紙に、「京都堺町通御池南/神戸氏貸本之記」というラベルが貼られている。尚、このラベルには書名・冊数・整理番号を記入する欄がもうけられている。

田中屋治助

京大文学部図書館蔵『歌々雅話』(咄本、巻一のみ。寛政十一年版)見開きに、「書林/東洞院二条上ル/田中屋治助」という印とともに、千支印があり、また黒で消した別の書林の印もみえる。田



小間物屋新助(小間新)の貸本に貼布されたラベル

中屋は、井上氏前掲書によれば、文政年間から幕末まで出版者として活躍していたようであるが、貸本も行ったいたのであろうか。

安井

同館蔵『夜談隨筆』(浮世草紙、五冊、奥付け無し。大坂・堺屋定七ほかによる後刷り)巻一の見開きに、「京蛸富角/安井」という朱印があり、また同じ安井の貸本規則のラベル(青色の木版刷り)が貼つてある。この安井の貸本であつたものとしては、別に石川原中央図書館蔵『絵本石川軍記』(大坂・前川善兵衛による後刷り、明治十六年刊)、天理図書館蔵『川童

北村北辰堂

大阪府立図書館蔵『和布菫神事』(脚本、七冊、文政本)『日本第一和布菫神事』の改題本。大坂・河

一代晴』(奥付け無し、江戸・大坂その他の書林による後刷り)、米國議會図書館蔵『旧観帖』(大坂・岡島新七蔵、文化七年刊)等が上げられる。尚、この『旧観帖』にある「貸本安井」の印は、消去の目的で上に紙が貼りつけられ、別に「本/文古堂」の印が各冊二回ほどおさまれている。また巻一の前表紙見返しに、「この本見料七日以内七匁□十日以内十匁」との墨書がみえるが、その上に「この本見料六日以内六匁□十日以内八匁」という朱の木版ラベルが貼られている。それぞれ安井と文古堂の見料であろう。

書物や伊兵衛

同館蔵『粹庵』(滑稽本、五冊、京・吉田新兵衛ほか板、寛政七年刊)巻二一五の見開きに、「伏見/書物や伊兵衛/方加し本所」の商印がおされている。また、「書林/著勘」ほか、いくつもの書林印もみられるが、それぞれ貸本屋であるかどうかは未詳。

吉清堂

同館蔵『櫻の懸鎖』(咄本、五冊、京・山崎屋佐兵衛ほか板、文政九年刊)巻一見開きに、「伏見掘詰/古清堂/稗史小説貸本所/伏見竹田口全支店」の商印がおさまれている。

北村北辰堂

大阪府立図書館蔵『和布菫神事』(脚本、七冊、文政本)『日本第一和布菫神事』の改題本。大坂・河

内屋大助ほか板/天保十二年刊)各冊の見開きに、「貸本/京姉小路室町東入/北村北辰堂」の朱印が二回、「本/高為」の印が一回ずつおさまれているが、それらの印のところに紙が貼りつけられており、上に「貸本安井」(別項参照)の朱印がおさまれている。

便利堂

昭和五十七年に出た『沓掛伊吉著作集 - 書物文化史考』の写真版ページに、京都新町竹屋町南の便利堂という貸本屋の活字版ラベルが入っている。それによれば、新刊の貸本、古本の売買、雑誌・新聞の配達などもしており、また第三高等中学前と同志社学院前には、支店も開いていたことがわかる。

以上、京・伏見の貸本屋と断定してよいものを中心にいくつか並べてみた。もちろんこれだけで京都の貸本事情がわかるといえるものではない。『讀本外題作者画工書肆名目集』には、文化年間の江戸の六百五十数軒もの貸本屋が掲げられている。京都の場合、このような数字をひき出せる資料さえみつかからないのが現状である。

(筆者紹介) 英因生。オックスフォード大東洋学部卒。国公立大学戦後初の外国人助教として今春より京都大学人文科学研究所へ。

江戶文学と明治文学の連続性に光をあて現在「江戶・明治時代の出版文化と貸本文化」を中心に研究。

顛想 (二)

徒然草を読むとはどういふことか — 林瑞榮著「兼好発掘」への批判 —

雙岡散史

徒然草の作者兼好の伝記を研究された林瑞榮氏はこの度、既往の諸論考をまとめて「兼好発掘」なる一書を世に問われた。中で氏は徒然草第二三八段に「賢助僧正」(流布本)とあるのは誤りであり正しくは正徹本により「顯助僧正」に訂正さるべきだと指摘する。「賢助か顯助か」果してその何れが正しいのであろうか考えてみたい。

愚見はまず結論から先に云わせてもらおう。これはやはり流布本の方が正しい。「賢助僧正」はそのままであつて少しもおかしくはない。これを「顯助僧正」に訂正すればとてもあり得べからざる事態が生じてことになる。林氏が訂正を指摘した正徹本の方にこそ誤りが犯されたということになるのだ。然もこの誤りは徒然草の研究にあつて一人名の問題に止まらない。それは訂正者林氏の説にその立論の大前提を抜本的に再検討せざるを得ないハメに立至らしめる。僅か一字のちがいが氏説にとつてはとんでもない結果に展開する。そうした可能性を示唆している。正

徹本による「顯助僧正」は氏にとつて確かに都合のよさそうな論拠の一つであつたかも知れない。然しその実、これにより氏説はその根柢に致命的な欠陥を曝露する端緒ともなりかねない。

氏の長年にわたる努力の結晶は或は水泡に帰するかも知れないということなのだ。

金沢文庫古文書に触発された林説について私は所論の当初からして独異な偏見が牢固として巢喰っているのではなからうかと疑惑の念をいだかざるを得なかつた。今こうして該書を通読してみると事更その印象を強くする。

林氏は徒然草の作者兼好は関東の武門倉栖氏に出生したとする。関東が彼の出生地であり「ふるさと」の名にふさわしい成育の地であると主張する。その兼好は成長後上落し、後年ついに名作徒然草を書くようになったという。私は最初からこういう氏説に対し、危惧の念なきを得なかつた。氏は恐らく金沢文庫古文書という権威あるものによるが故に大した不安は感じ

なかつたのかも知れない。しかし結果としては、これがいけなかつたのではなからうか。もつとも氏説に附和する学者もいないことはない。さて私は氏説への反論に入らねばならぬ。それはまず氏が明らかに軽視して省略に附した「徒然草本文」の掲出から始めねばならぬ。正徹本徒然草である。

一 顯助僧正ともなひて、加持香水を見侍しに、いまだはてぬ

ほかに、僧正かへりいで侍しに、陣の戸まで僧都見えす。法しどもを返して、もとめさするに、「おなじさまなる大衆おほくて、えもとめあはず」と云て、いとひさしくていたりしを、「あなわびし。それもとめておはせよ」といはれしに、かへり入て、やがてぐしていでぬ。

本文は唯これだけなのだ。確かに「賢助」ではなく「顯助」とある。このほか多少の異文があつて吟味を要するが、今は圈点(筆者による)部分に注意していただきたい。この文章において「顯助僧正」は明らかに兼好に対して「敬語」をつかつてものを云つている。「おはせよ」というのがそれだ。

林説に従つて此の僧正を「顯助」とすれば兼好との人間関係はどういふことになるのであろうか。顯助の父は金沢北条氏の当主貞頼である。貞頼は一時「執権」の座に

ついたことがある。関東武家としての名門である。これに対して林説によれば兼好の出自はその金沢北条氏に仕える「御内祇候人」たる倉栖氏だという。この前提に立てば両者の関係は生家の家格において明らかに主従の関係ということになる。兼好にとつて顯助は主家の子息であり、顯助にとつて兼好は家臣の子となる。これを本文の事態に考えれば、「主家筋の顯助」と「家臣筋の兼好」が同行して加持香水の拝観に行くということだ。そして主家筋の顯助が家臣筋の兼好に対し、「敬語」をつかつてものを云つたということになる。当時二人は共に出家していたろう。

封建体制下、鎌倉の武門には独特の理念が発生した。「御恩と奉公」の思想である。もし兼好が倉栖氏の家に生れ育つたのが事実とすれば、彼は幼時からの厳しい庭訓としてこの理念だけは骨の髄まで叩きこまれたに相違ない。本文の如く「ともなひて」などときりげなく書くはずはない。それは正に「誘はれ奉りて」(三二二段)でなくてはならぬ。

一方顯助の方も家臣を遇する態度は厳格に訓育されていたにちがいない。「家臣筋の兼好」に対してはかりそめにも「それ求めておはせよ」などという敬語仕立ての言葉遣いでものを云つたとはいへられない。「それ」と云つたかど

うかにも多少の抵抗感なきを得ないが、何よりも顯助なら「求めておはせよ」など云うはずは絶対対にあり得ないのではなからうか。これが林説に対する私の反論の主旨である。氏は果して鎌倉武家における「御恩と奉公」の思想や、それに厳しく規制されて成立する当時の封建体制下の人間の身分意識やそれにもなう言葉遣いの問題を考慮した上で「顯助説」を提唱したのであろうか。私はそれを心許なく思う。武家における言葉遣いは単なる些事であると等閑視することは許されない。顯助説を指摘するには、あらかじめこういう前提に立つて事態を考察せねばなるまい。私が先に「あり得べからざる事」と書いたのはこの意味に於てである。今や林氏は私の反論に答えるのに「あり得べからざる事」を「あり得る事」として論証の義務を負うことになつたのではなからうか。氏の労作「兼好発掘」は此の問題点について何ら触れる所なく、唯「正徹本」に憑依している。背後に金沢文庫古文書の精査は認めるに答かなものではないが、さりとて徒然草の本文を軽視している氏の研究態度に私は納得し難いものを痛感する。

この一点を反論としただけでも氏の「兼好関東武家出生」説はその成立の基盤に動揺を来さないであろうか。私はそれを疑う。文章表現における敬語使用の間

題など指摘されて見ればアツケナイことなのかも知れないが。これが「賢助か顕助か」のキメテとなるのなら、やはり重要な問題だと考えるのだがどういふものであろうか。私は氏説に従つて顕助と解すれば、それ自体の中に「徒然草の兼好」とは両立しがたい矛盾の存することを指摘したわけである。唯一つの文段事例にもその足りなさを感ずるむきもあるかも知れない。然し類同の事例は他の文段にも存在している。例えば次の文章などどうであらうか。

あつまの人の、都の人に交はり、都の人のあつまに行きて身を立て、又、本寺本山を離れぬる顕密の僧、すべてわが俗にあらずして、人に交はれる、見ぐるし。(第一六五段)

林説によれば、顕助僧正その人は勿論「徒然草の兼好」自身も関東生れの関東武家育ちだといふ。この二人は自らの生国武州金沢の地を出て、帝王の花洛に栄達を求めたということになる。顕助は後日、東寺長者にまでなつてゐる。目的は果されたといふことであらう。兼好の場合はどうか。彼は清華堀川家の家司におさまり才腕を振つたわけである。然し本文の「見ぐるし」といふ咬んで吐き出すような批判の心理を考える時、私にはやはり何か「関東武家の出自者

兼好」の批判としては己を棚に上げた不自然なものを感じず。それでは少し虫のいいことならぬか。本文の主題は明らかに執筆時の世相を「公武混淆」と批判している。花洛の良風美俗が日一日と頽廢にのみ急傾斜する。そんな世相を慨嘆しているのだ。そこに考え得るのは京都に生れ京風に成長した教養人の風貌であつて、関東を出生地とし京都に出生し、そこで兎も角栄達をつかみとつた人間の批判とは受とりかねる何ものかがある。特に「見苦し」の一語にこめられた吐き出したような嫌悪感には、生粋の京人の批判、それも高度の教養を身につけ文化の荷担を矜持する者の自覚のようなものがこの一語に読みとれるのではなからうか。

矜持は「公武混淆」という「雑」を否定する「純」の精神的位相である。関東生れ関東育ちの人間兼好としてなら、「見苦し」に峻別される「田舎者」の俗輩に自分をも含めて考えねばならぬ後メタサを意識せざるを得ないことにならう。その矛盾にも似た気持ち兼好はどのように処理したか問題となるはずである。自分のことは棚に上げての批判なら兼好も随分とオメデタイ生奥坊主ということになりかねない。徒然草から感受される作者の風貌は果してそういうものであらうか。私はこの点でも林説には抵抗を感ずる。「見苦し」の

一語にこめられた潔癖感には「雑」を否定する「純」の矜持が打ち出されてゐる。

「五月五日、賀茂のくらべ馬を見侍りしに、車の前に、雑人立ちへだててみえざりしかば各おりてらちのきはよりたれど、ことに人おほくたちこみて、分け入りぬべきやうもなし」(四一段)の情況下、兼好の行動は「ただ物をのみ見むとする」田舎者の姿勢とは質的な落差がある。賀茂競馬における兼好に私は京人を感じこそすれ「関東生れの関東育ちの田舎者」は感じられない。それは次の文段に對比する時一層明確になる。

「都の人のゆゆしげなるは睡りていと見す。わかすそすなるは、宮仕へに立ちあゝ、人のうしろにさぶらふは、さまあしくもおよびかからず、わりなく見むとする人もなし」(二七段)この表現に田舎者に対置した「都の人」にこそ、兼好の京人たる自覚が読みとれよう。こういう文段の前後照応の微妙さに、私など林説の前提は隠約の間に否定されているとしか解しようがない。

以上、私は徒然草の「読み」そのものを重視する立場から林説に反撥する。然しだからと云つて文献主義による外部徴証を無視したり拒否したりはしない。それはそれで十分に意義を認めるに資かなものではないつもりだ。

所でそういう私は「兼好発掘」

を読んで発掘作業とは何だつたのか。発掘は果してその名の如く実質として成果をあげ得て業績に結晶しているかどうかを考え、そこにはどうも私の理解を超えたものを感じる。同じ研究対象を志向しながら、考察の次元を異にすれば結果は何故こうも逆に出るのだろうか。

林説に業績価値を認めそれを準拠とする限り、徒然草は次第に読めなくなつて行くのではなからうか。氏の一方交通の規制に従えば洪滞と混乱は統発するのであり、徒然草は難解なものとならう。私は疑念なきを得ない。

以上わずかな事例によつてではあるが林説の盲点を指摘して氏説の成立しがたい所以を批判した。之を要するに林氏が発掘したのは「徒然草の兼好」ではなく氏御自身の墓穴ではなかつたか。私にはそう思えてならなかった。

顕助と兼好との家の関係に主従の緊密な紐帯を考える者は、当然「御恩と奉公」というあの独特な理念を彼らの行為の背後に考えて見るはずである。これは常識である。その常識を林氏は考えていない。それでは単なる御都合主義的な指摘に止まり、説が説にはならない。目先の花にとらわれては、その花を摘みとることのみ心奪われ、花が約束する遠い実のりが待てない。このモラルは氏に何を問いかけるのだろうか。

最後になつたが林氏には是非云つておかねばならぬことがある。氏は、やはり二三八段に登場する「堀川大納言殿」につき(一、具親か具守か)(P151-P154)の一項を設け橋説の「堀川具親説」を否定し「堀川具守説」を提唱している。氏はこの説を誰の説から借用されたのか承りたい。「兼好発掘」の説者は誰もこういう問いを出さないであらう。だから具守説も、真正正銘、林瑞栄説として受取るにちがいない。然し該説は林氏の創見ではあり得ない。

田辺爵著「徒然草諸注集成」(昭和三十七年五月五日右文書院刊)ば、中新敬著「徒然草の成立に関する研究」(昭和三十四年八月三十日私家版)を引用し次の如く紹介の勞をとられた。

「中新説では橋説(具親説)を退け、立坊當時すでに大納言であつた「具守」こそ妥当であらうとし、具守が大納言時代(正和二年以前)に、淳和奨字両院の別当であつたことも考慮すべきである。

此の問題について、私は林氏を追及するつもりはない。唯、学者のモラルはその業績によつて問われる。氏が「具守説」を以て自らの創見であるかの如く書いているのは、氏が自らの読者を欺くことになりかねない。注意しておく。

(九月廿一日稿)

京都古書研究会員

店と人

シリーズ

第二回 「河原町・寺町通」

(丸太町・四条)

「好評の古書研究会員」店と人
シリーズ第二回は、第一回「百
万遍界隅」(第18号所収)に続き、
丸太町・四条間の河原町通と寺
町通近辺の会員を御紹介します。
(尚、順序は不同です)

赤尾照文堂 赤尾薫(34才)

河原町通りの三条と四条のおよ
そ中程西側に、赤尾清昭さんと薫
さんの親子でやっておられる赤尾
照文堂がある。正面のショーウイ
ンドウには個人全集ものが数種お
かれており、その前の台には文庫、
人口横の棚には今話題のハーレク
インなどが並べられていて、何か
いいものはないかと足を止めて探



全集ものがギッシリの赤尾照文堂

する所である)の座
る勘定場のうしろを
通って反対側の通路
へ。壁側は詩歌に関
するもの、内側は国
文学、近代文学の書
籍がある。
ぶらっと入ってみ
るには少し硬めの内
容のものが多く、河

す人が絶えない。

入口のガラス扉を押して中に
入ると、少し奥の深い店内で、通路
にまで二重三重に置かれてある本
にうづもれてしまうような、さな
がら「古本浴」でもしている気分
が楽しめる。棚の上にはこれまた
ギッシリと全集ものが何十種と積
まれている。それも全巻並べるス
ペースがなく、代表で一五冊く
らいが顔を出しているにすぎない。

北側通路の内側は哲学書、思想
書、壁側は外国文学及びその研究
書が棚につめられている。奥まで
行ったら、当研究会きつての二枚
目、薫さん(古書研には自称「枚
目が多すぎて、まことに困りもの
だが、薫氏に関しては衆目の一致



古書研きつての二枚目赤尾薫さん

原町の若い客層には馴染みにくい
とはいええる。その点については、
二世の薫さんは将来の青写真とし
て、店舗を二階建てにし、二階を
従来通りの専門の文学、全集のフ
ロアとし、一階に一般向きの品物
を置いて、振りのお客さんにも応
えられる店を頭に描いている。

趣味はテニス。当研究会には教
えを請うものはいても相手になる
ものはいない。お子さんは小三の
智子ちゃんとお六つになる慶一くん
のお二人。まだまだらびつ子戦争
が続きそうです。

営業時間は朝10時半(日祝は昼
1時)から夜8時半まで。定休は
第一と第三木曜です。

大書堂

中村俊一(41才)
中村正二(39才)

寺町京極商店街のアーケードの
中を、京の台所といわれる錦通り
から少し上がって西側、通りと路
地の角に大書堂がある。

ここは、先づ何といっても版画
浮世絵である。表の台の上には極
彩色の版画が丁寧に台紙に貼られ
買手の手を待っている。台紙の裏に



版画、美術本が山積の大書堂店頭

書かれてある値段は、絵の出来か
らすれば意外に手頃なものが多い
し、それを彫る手間、刷る手間、
また作られた時代(江戸期のもの
も少なくない)などを訊ねてみる
と、思わず欲しくなってしまう次
第である。

店内は少々狭いのだが、下から
上まであます空間なく本がつま
っており、そのうえ天井からは綿絵
がぶらさがっているという寸法で
ある。通路は二人がようやく通れ
る程であるけれど、だからこそ本
との触れ合い、また店主との触れ
合いが生まれるのである。

さてその店主、二つ違いの兄弟、
メガネをかけている方が兄の俊一
さん、かけてないのが弟の正二さ

ん。お二人とも長い?鼻の下を覆
うように登録商標のヒゲをはやし
ている。俊一さんは今春より当研
究会の代表となり、また京都古書
組合の理事にも就任し、まさに八
面六臂の大活躍で、業界の注目す
る所となっているが、やはり二人
揃って大書堂であり、正二さんの
尽力も見逃すべきではない。

結婚が弟氏のほうが早く、四年
と一年の子供さん、兄貴氏は幼稚
園生を頭に三つと一つ(四十路を
越えてますます盛ん)のお子様
に恵まれております。

営業時間は朝10時から夜9時ま
で。本物の浮世絵を手にとりて見



古書研ニューリーダー中村俊一さんと弟の正二さん

ただでもなかなか他所ではでき
ないですから、是非一度お立ち寄
りを、と御両人。尚、南側ウイ
ンドウには、画集、書譜などがたく
さんならんでますのでお見逃しな
く。他に和紙、一般書も多数。休
みの日は、特に定めていない。



筆跡物に全力投球の文藻堂 松尾さん

文藻堂 松尾正雄(54才)
河原町丸太町のそばぼうろ屋さんから西へ二筋目を南へ歩く。新鳥丸通りは、寺町と河原町にはさまれた細い通りだが、まわりの喧嘩が嘘のような静かな落ちついた街なみである。ちよつと歩いた所の左手にある、掛軸のかかったジョーウインドウの店が文藻堂である。

店内にも数本の軸物が掛けられているほか、短冊、手紙、扇子など筆蹟物がならべられており、みな名筆ぞろいである。

松尾さんは、サラリーマンを辞めてこの世界に入り、独立してから十年余、仕人も仮ならぬ苦しい時期を乗り越え、七年前にここで開店された。店は住居の一部を改装したもので、少し手狭の感もあるが、店内には清潔感が漂い、じっくり書を選ぶには、すぐれて良い雰囲気がある。

い雰囲気がある。置かれている書は、禅僧や国学者、俳人のものが多く、そういった関係の和本も集められている。書というものはどれもみな天下に一品、それに適確な値をつけるのも難かしく思われるのに、そのうえ書には偽物がつきもの。偽物のほうも天下に一品、相当の眼力がないと見抜けない。松尾さんも色々と勉強させられた事が多いと言われるけれど、自分の納得したものしか出さないという真摯な姿勢が、開業以来、現在に至る盛業の一つの因であると思われる。

御家族は、奥さんと芸犬に通われる娘さん、高三の息子さんの四人家族。進学に就職にと、お子さんに関する悩みはまだ尽きてはいない。

営業時間は朝10時から夜7時、休みは特になし。

最後に奥様の御主人評。やはり、「真面目」でございました。

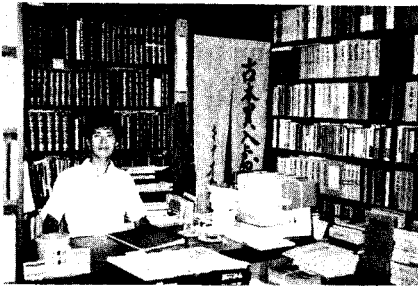
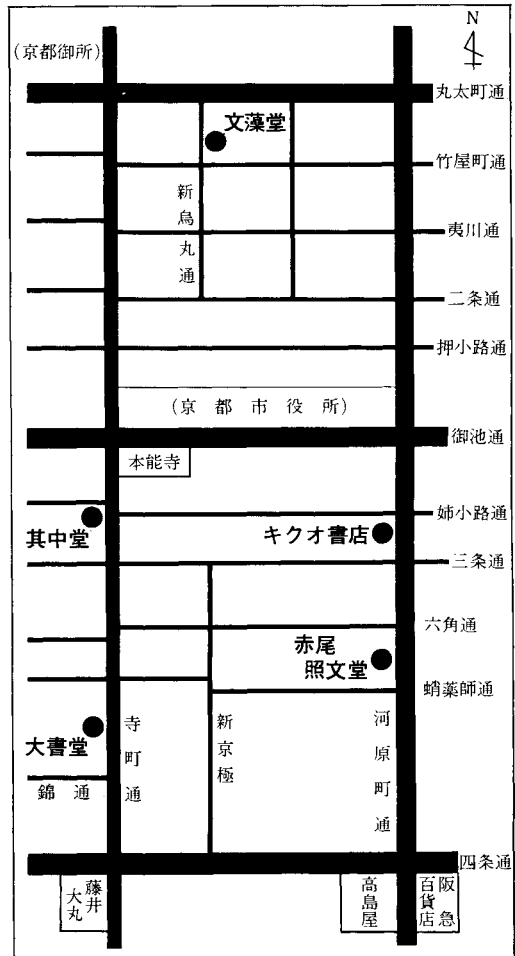
キクオ書店 前田司(40才)
河原町通りの西側、二条を上がった所、朝日会館の真向いにキクオ書店がある。ごく普通の本屋さんという感じの店づくり、まん中の棚が二本の通路を隔てている。普通でないところは、中の棚の片側一面が全て洋書だということ。

二世の司さんは、洋書を買付けに毎年海外を飛び回っている。ここに並んでいるものの殆どが、海外

で仕入れたものだという。分野は日本文化の研究書、特に開国から明治にかけてのものが中心に集められている。その他にも洋書一般、全集ものなども置かれる。

この春、国際古書籍商連盟の日本での下部団体であるABAJに加入し、洋書に一層の力を注いでいる。

奥へつづく北側の棚には全国各地の郷土史があり、他に民族学および民俗学、歴史関係などを専門とする。また硬いものから軟かいものまで種々取揃えられており、司さんの趣味である登山の関係の本も置かれている(とはいうものの、最近ではセルフユースが増えてねえ、と照れ笑い)。カウンター後ろの棚には総装束の洋書が重々



風流な「のれん」がよく調和したキクオ書店 前田司さん

しく並ぶ。クレジットカードの表示が数種あるのも古本屋としては珍しい。

現在、六年生を頭に四人のお子さんをお持ちで、好きな登山をす

其中堂 三浦了三(23才)
寺町三条のアーケードの交差点から北へ約100m、西側に其中堂がある。ここの建物は中華風につくられており、白塗りの壁には陶器

定休は第一と第三木曜。朝10時(日祝は12時)から夜8時ごろまで。お客さんとの対話を大切にしたいという司さん「古本屋は情報交換の場です。どうぞお気軽に声を掛けて下さい。とのことでした。

製の看板や祀崩しの欄干がほどこされ、50年間威容を誇っている。しかしながらアーケードができて以来、全容を見ることができなくなったのは残念。

ひととき高い天井の店内は、上から下、右から左、これら全てが仏教書である。仏教書とひと口に言ってもインド哲学などの学術書から仏事の手引書などの一般書まで範囲は広い。北側の通路には新刊書、南側には主に古本が並んでいる。このように、新本と古本が同居している本屋は珍しいが、学術関係の絶版ものを取揃えていることは、新本屋にはない魅力である。しかしもっと注目すべきは、カウンター横と階段下に置かれては、和本の仏教関係の和本を専門的に扱っている店は全国的にも多く



佛書ナンバーワン其中堂の若旦那三浦了三さん

百万遍に「古本村」誕生

—— 第七回 青空古本まつり ——

行事の多い秋の京都でも、すっかりお馴染みになった当研究会の古本まつりが、十一月二日〜六日迄例年の通り百万遍知恩寺境内で開催。特に今年は従来の本堂参道の青空古本市が大きく拡がり、境内全域に古本屋が散在する「古本村」として「緑」「素朴」「郷愁」と「村」のもつイメージそのまゝに、各店、出品、陳列に趣向をこらし、御来場の皆様にタップリと

はなく、貴重な存在となっている。店内の天井近くには大蔵経などがデンと並び、出入口の上には何気なく西田幾太郎の遺墨の額が掛けてある。ウインドウ内や店内にも軸物が掛かっているが、売り物でないところが其中堂の固い商売

のあらわれと言えそうである。この五月から古書研究会となつた三浦さんは、公私からの就職の誘いを振り切つてこの商売の道へ。お客さんに喜んでいただけることが何よりもうれしい、という素直な青年、今後が期待される。趣味のクラシック音楽は大学に入つてから聴きはじめてたそうだが、二百枚近くのレコードの中に、中森明菜も混っているのは当世の若者気質なのだろうか。

兄の佳一さんが東京住いのため現在母親と二人暮らし。嫁さんの来手があればいいけれど、とにかく募集中の看板をだすのは一人前になつてから、とのこと。営業時間は朝10時から夜7時まで、日祝は正午から夜6時まで。休みは特になし

行事の多い秋の京都でも、すっかりお馴染みになった当研究会の古本まつりが、十一月二日〜六日迄例年の通り百万遍知恩寺境内で開催。特に今年は従来の本堂参道の青空古本市が大きく拡がり、境内全域に古本屋が散在する「古本村」として「緑」「素朴」「郷愁」と「村」のもつイメージそのまゝに、各店、出品、陳列に趣向をこらし、御来場の皆様にタップリと

秋の一日、どうぞ読経と鐘の音を聞きながら、古本漁りをお楽しみ下さい。
第七回青空古本まつり

- 期間 11月2日〜6日
- 会場 百万遍知恩寺(京大北門前、市バス「百万遍」下車)
- 古本供養 11月2日午前9時〜10時、知恩寺本堂
- 古本村(境内全域)期間中、午前10時〜午後6時(最終日は午後5時迄)
- セリ市 11月3日(祝日) 5日(土) 6日(日)、午後1時より一時間
- 入札コーナー 本堂前
- 期間中随時入札、入札切11月3日正午、直ちに開札発表

百万遍「古本村」案内

「日本の古文書展」
10月19日〜30日
天理図書館(天理市柚之内(三基))
「孤高の芸術家 藤井達吉展」
10月8日〜30日(17日24日休館)
思文閣美術館(左京区田中関田町)
「蔵書票展」11月1日〜10日
パイロスを中心として棟方、関野他多数展覧、凡曲廊(加古川市駅前通)電話(078)311-3347
◎即売会
「京都近鉄百貨店古書籍即売会」
10月21日(金)〜26日(水)(七階催場)

「京の出版文化」11月1日〜30日
京都市歴史資料館(上京区寺町丸太町上ル) 日祝(11月3日を除く)休館

◎展覧会
「京都と絹の道」大谷探検隊80周年記念 11月2日〜27日
京都市社会教育センター(中京区丸太町七本松西)
「京の出版文化」11月1日〜30日
京都市歴史資料館(上京区寺町丸太町上ル) 日祝(11月3日を除く)休館

◎催物案内
「展覧会」
「京都と絹の道」大谷探検隊80周年記念 11月2日〜27日
京都市社会教育センター(中京区丸太町七本松西)
「京の出版文化」11月1日〜30日
京都市歴史資料館(上京区寺町丸太町上ル) 日祝(11月3日を除く)休館

編集後記

○当22号編集にあたり、御寄稿戴きました渡部先生をはじめ、諸先生方に厚く御礼申し上げます。
○御寄稿戴きましたピーターニツキ先生の、借本に関する研究に、何か情報があれば御協力下さい。
○京都は東山山麓下、毎年華々しく繰広げられる諸々の秋の祭典、その中でも、知恩寺の「青空古本市」は、今や「目玉行事」の一つになりました。過去六回、古書研の衆智を集めたアイデアから生れる新趣向を、毎年加えることなく、マンネリ化の誘いも受けることなく、年毎に人気も上昇、不況どこ吹く風の盛況は、会員諸君の志気をいやが上にも高めます。
更に今年は上記の通り「古本村」にガラリと様変りのイメージチェンジ、スペースも出品量も倍増、今年も又、東山の人波は南北に長く、繁々しく続くことでしょう。ドットと、お出かけ下さい。

次号予定

「京古本や往来」第二十二号は五十九年一月十五日予定です。

キクオ書店

電話(〇七五)二二二一七六三四
振替 京都 八一七六四〇

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

1	美術展図録特集(長い標題は一部省略してあります)	国立西美	昭51	一、五〇〇
2	全米美術館収集 世界名作展	読売昭	昭47	二、七〇〇
3	メトロポリタン美術館展	京博	昭53	一、〇〇〇
4	エルミタージュ美術館展	毎日	昭52	二、〇〇〇
5	ソ連所蔵名品百選展	日経	昭46	一、五〇〇
6	ルビンをフランス美術展	朝日	昭37	一、〇〇〇
7	ヨーロッパ絵画名作展	日経	昭49	二、〇〇〇
8	19世紀秘蔵名画展	読売	昭48	一、七〇〇
9	英国風景画展	日経	昭45	二、〇〇〇
10	ゴッホの中心にスเปน美術展	朝日	昭45	一、〇〇〇
11	スเปน美術展 21世紀ひょうご創造協	昭	昭45	一、〇〇〇
12	国立西洋美術館記念 松方コレクション展	昭	昭34	一、五〇〇
13	万博美術展	昭	昭45	一、〇〇〇
14	ミロのピナス展	朝日	昭39	一、五〇〇
15	ロダン展―没後五十年記念	読売	昭41	一、〇〇〇
16	ミレー展	読売	昭45	二、五〇〇
17	ゴヤ展	毎日	昭46	二、五〇〇
18	ルノワール展	毎日	昭42	一、七〇〇
19	セザンヌ展	読売	昭49	二、〇〇〇
20	ルオー展	京美	昭46	二、〇〇〇
21	ユトリ口展	毎日	昭42	二、五〇〇
22	ロートレック展	読売	昭43	一、〇〇〇
23	ジェームズ・アンソール展	中日	昭47	二、〇〇〇
24	フリードリッヒとその周辺	日経	昭53	二、〇〇〇
25	デューラーとドイツルネッサンス展	日経	昭47	二、〇〇〇
26	ブラジルの巨星・マナブ間部展	読売	昭53	一、〇〇〇
27	古代オリエント・ギリシャ展	日経	昭48	一、五〇〇
28	オリエント七千年展	朝日	昭42	一、〇〇〇
29	ツタンカーメン展	朝日	昭40	一、〇〇〇
30	エジプト美術五千年展	朝日	昭38	一、五〇〇
31	インド古代美術展	日経	昭38	一、五〇〇
32	スキタイとシルクロード美術展	日経	昭44	一、〇〇〇

33	アフガニスタン古代美術展	日経	昭38	一、〇〇〇
34	インカ帝国黄金展	読売	昭36	一、〇〇〇
35	中華人民共和國出土文物展	朝日	昭48	二、〇〇〇
36	北京・故宮博物院展	朝日	昭57	二、〇〇〇
37	米國二大美術館所蔵中国の絵画展	東博	昭57	三、〇〇〇
38	パリ・ギメ博物館 東洋美術の秘宝	京博	昭54	二、〇〇〇
39	東洋美術展―東博東洋館開館記念	昭	昭43	二、〇〇〇
40	安宅コレクション・東洋陶磁展	日経	昭53	二、〇〇〇
41	日本古美術展―東京オリエンティック附属	昭	昭39	二、〇〇〇
42	日本国宝展目録	読売	昭51	一、〇〇〇
43	徳川美術館展	日経	昭42	一、〇〇〇
44	根津美術館名宝展	昭	昭43	一、五〇〇
45	陽明文庫名宝図録	昭	昭55	一、〇〇〇
46	紫式部と源氏物語展	日経	昭42	一、〇〇〇
47	平家納経と厳島の秘宝展	京博特別展	昭47	二、〇〇〇
48	桃山障屏画名作展	日経	昭44	一、〇〇〇
49	狩野派の絵画展	東博特別展	昭54	二、〇〇〇
50	宗達展	日経	昭41	一、〇〇〇
51	琳派―東博創立百年記念特別展	昭	昭47	三、〇〇〇
52	(英) 近世初期風俗画展	サントリ	昭53	二、五〇〇
53	近世初期風俗画展	徳川美術館	昭44	一、〇〇〇
54	ロンドンから帰って来た大浮世絵展	西武	昭51	二、〇〇〇
55	鳥居派八代浮世絵展	日本浮世絵協会	昭49	二、〇〇〇
56	葛飾北斎展	日経	昭46	一、七〇〇
57	円空―その芸術―展	中日	昭54	三、〇〇〇
58	近世異色の水墨画展	日経	昭49	一、〇〇〇
59	禅の世界と白隠展	常盤山文庫	昭	二、五〇〇
60	墨の美名品展	石川泉美術館	昭45	一、五〇〇
61	名筆と茶器展	昭	昭45	二、〇〇〇
62	美の美展(第八回)	毎日	昭51	一、〇〇〇
63	鉄斎―遺墨名作展	日経	昭39	一、〇〇〇
64	足立美術館蔵・大観・栖鳳展	読売	昭54	二、〇〇〇
65	竹内栖鳳とその後の展開(万博記念展)	昭	昭45	一、〇〇〇
66	森寛齋と山元春峯―近代京都画壇の巨匠	昭	昭57	一、〇〇〇
67	安井曾太郎展	京都新聞	昭54	二、〇〇〇
68	福田平八郎遺作展	昭	昭50	一、〇〇〇
69	国吉康雄展	神戸新聞	昭50	二、〇〇〇
70	棟方志功展―文化勳章受賞記念	朝日	昭46	二、〇〇〇
71	沖繩を彫る儀間比呂志版画展	朝日	昭47	一、〇〇〇

72	佐藤忠良彫刻展	読売	昭	一、三〇〇
73	清水六和(五代六兵衛)展	府資料館	昭	一、六〇〇
74	宇野宗饗回顧展	府資料館	昭	一、三〇〇
75	サントリ―美術館特別展目録(分売)	昭	昭	一、〇〇〇
76	国立京都博物館特別展目録(分売)	昭	昭	各七〇〇
77	京都府総合資料館特別展目録(分売)	昭	昭	各二五〇
78	国立奈良博物館特別展目録(分売)	昭	昭	各七五
79	大和文華館特別展目録(分売)	昭	昭	各六〇
80	分売各五〇円	昭	昭	各六五
81	手紙各五〇円	昭	昭	各六五

◎佐藤忠良彫刻展 読売 昭 一、三〇〇
◎清水六和(五代六兵衛)展 府資料館 昭 一、六〇〇
◎宇野宗饗回顧展 府資料館 昭 一、三〇〇
◎サントリ―美術館特別展目録(分売) 昭 昭 一、〇〇〇
◎国立京都博物館特別展目録(分売) 昭 昭 各七〇〇
◎京都府総合資料館特別展目録(分売) 昭 昭 各二五〇
◎国立奈良博物館特別展目録(分売) 昭 昭 各七五
◎大和文華館特別展目録(分売) 昭 昭 各六〇
◎分売各五〇円 昭 昭 各六五
◎手紙各五〇円 昭 昭 各六五

◎歌仙絵○観音の絵画○寛水の名筆○中国版画 各八五
◎聖徳太子絵伝○大陸伝来仏教美術○神仏融合美術○密教法
具展 各三〇
◎正倉院展目録(昭39・40・51年) 各六〇
◎歌仙絵○観音の絵画○寛水の名筆○中国版画 各八五
◎分売各五〇円 ○「国華」七十年展 ○法隆寺献納宝物 ○中尊
寺秘宝 ○雪舟 ○屏風絵名作 ○光琳名品 ○初期狩野派と漆
香合 ○応挙と芦雪 ○池大雅名作 ○加賀百万石大名 ○加賀
国宝と茶道名宝 ○茶道名宝 ○楽茶碗と厨子 ○奈良 ○桃山
手紙各五〇円 ○日本画250年 ○日本金銅仏図録 ○日本絵
巻物 ○百人一首 ○桃山的美 ○狩野山楽 ○長谷川等伯 ○渡
辺始興 ○明治美術 ○鉄斎名作 ○画聖鉄斎名作 ○豊崎富士
名作 ○京都日本画の200年 ○京都文華典 ○富田溪仙 ○榊原
紫峰遺作 ○福田平八郎近作 ○小林古径遺作 ○須田国太郎
遺作 ○茶道名宝 ○中国名陶白遼 ○池大雅遺墨遺品展
の美術 ○パキスタン 古代文化 ○世界大雅遺墨遺品展
◎「第八回丸善特選古書展示即売会」(会期は終了しました
が注文は承っております。目録請求下さい。(送料五円)

〒603 京都市北区小山下内河原町六三三

古書籍 東方書店

電話(〇七五)四九二一三〇七一

1	八辨百年誌	八辨小学校編集委員会	函	昭51	五,000
2	修徳百年の回顧	修徳同窓会	函	昭44	四,000
3	本山第一小学校九十年誌	其編集委員会	函	昭46	三,000
4	日影百年史	其編集委員会	函	昭46	五,000
5	京一中洛北高校百年史	校史編集委員会	函	昭47	六,000
6	山階校創立百周年記念誌	山階	函	昭47	二,五〇〇
7	稚松百年史	稚松小学校(二冊)	函	昭44	三,000
8	明徳五十年史	廃棄印	函	昭45	四,000
9	神戸女学院百年史	総説	函	昭51	六,000
10	京都府立医科大学百年史		函	昭49	八,000
11	桃園校百年史		函	昭44	三,000
12	算術教授に於ける実験実測の取扱	印あり	大	昭13	五,000
13	芸能科音楽授業細案	初二 荒井石井共著	昭	昭16	五,000
14	子供の遊ばせ方	坂内ミツ	函	昭4	六,000
15	修身教授の実際上	鯉坂国芳	大	昭10	一五,000
16	幼児の心理と教育	三木安直	昭	昭24	三,000
17	算術に関する教育的測定	海老原邦雄	大	昭13	五,000
18	学校とラジオ	キリス・ノーマン共著	昭	昭25	八,000
19	寮歌集	一高校友会 裏表紙欠	大	昭13	二,000
20	特別教育活動—その歴史と理論	宮坂哲文	昭	昭34	三,000
21	学校少年団の理論と訓練	大沼直輔 印あり	昭	昭30	六,000
22	医師の世界—その社会学的分析	中野進	昭	昭46	七,000
23	児童生徒の漢字を書く能力とその基準	文部省	昭	昭27	四,000
24	最新水泳術	齊藤六衛	昭	昭8	五,000
25	新国語学習指導要領の展開と発展(小学校篇)		昭	昭27	三,000
26	教育方法の基本原理	石黒・西原・篠原共編	昭	昭37	三,000
27	小学校国語能力調査	井上・弘	昭	昭24	四,000
28	ホームルームの指導記録	宮坂哲文	昭	昭32	三,000
29	成長と発達	教師養成研究会双書第4輯	昭	昭25	三,000
30	教育過程	教師養成研究会双書第5輯	昭	昭26	三,000
31	学習指導法	教師養成研究会双書第3輯	昭	昭23	三,000

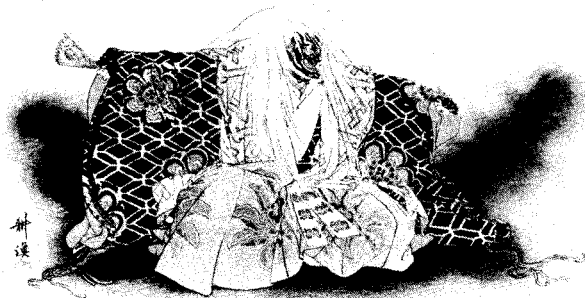
32	尋常小学地理書附図	文部省検定済	昭	昭6	三,000
33	近世数学史談	高木貞治	昭	昭19	三,000
34	数学と数学史	末綱恕一	昭	昭20	三,000
35	ホームコフソ連の陸上競技	大島謙吉訳	昭	昭30	五,000
36	体育スポーツ事故と裁判	判例集 印あり	昭	昭49	五,000
37	同和教育の構想と実践	京都府教委	昭	昭32	四,000
38	英字独学 全	茶好道人	明	明5	八,000
39	小学日本歴史	上下二冊	明	明26	五,000
40	新撰法記	尾関常太郎	明	明14	八,000
41	明治算法記	和	明	明15	三,000
42	小学初等作文教授法	上下二冊	明	明26	一〇,000
43	新地誌 卷一〜五揃	山田行元編	明	明26	一〇,000
44	万国地誌略一〜三	文部省	明	明8	六,000
45	万国地誌略一〜三	マナズ原著	明	明38	四,000
46	教育寓話 我子の悪徳	大村仁太郎編述	明	明14	三,000
47	女子新修身書	改訂版二、三、四 下田次郎	大	大14	五,000
48	裁縫教科書	上中下三冊 今村順子	大	大2	六,000
49	女子実用図画一、二	美育振興会	昭	昭9	各二,000
50	新手工教科書上巻	岡山秀吉他	昭	昭8	三,000
51	手工図案集玩具篇	吉見・加藤共著	昭	昭8	二,000
52	女子図画2・3・4	美育振興会編	昭	昭5	各二,五〇〇
53	女子図画1	美育振興会編	昭	昭5	二,000
54	製図教科書 上巻	製図教育研究会	昭	昭15	二,000
55	中等図画教科書	再訂巻一、巻二	大	大7	各三,000
56	中等図画教科書訂正巻四	検定済	大	大4	二,000
57	高等小学図画	第一学年男児用 女児用	昭	昭10	各一,五〇〇
58	高等小学新定画帖	第一学年 文部省	大	大元	各二,000
59	尋常小学図画	第一学年、第二学年	昭	昭7	各二,000
60	尋常小学新定画帖	第二、第四学年 児童用	明	明43	各二,000
61	尋常小学新定画帖	第五学年 男児用	明	明43	各二,000
62	生活図画指導	三森連象	昭	昭5	八,000
63	岡田良平	日本教育先哲双書	昭	昭18	三,000
64	広瀬淡窓	日本教育先哲双書	昭	昭18	三,000
65	精神医学者の憧憬	内村裕之	昭	昭22	三,000
66	美学論考	多田憲一	昭	昭4	五,000
67	美術の国	岡田 清	昭	昭22	二,五〇〇

68	呉春	四條派基他	京都市美術青年会	昭	昭12	五,000
69	桂離宮	タウト全集 第一巻		昭	昭17	四,000
70	野長瀬晩花	和高伸二		昭	昭50	三,000
71	素描画法	小林万吾		昭	昭17	四,000
72	絵画	モロオウオチエー	大森啓助訳	昭	昭17	五,000
73	歌集	文人画風	日夏耿之介	昭	昭22	四,000
74	美の本體	岸田劉生		昭	昭17	四,000
75	洋画鑑賞十二講	黒田重太郎		昭	昭8	四,000
76	画論	入江波光		昭	昭24	五,000
77	芸術の本質	金子筑水		昭	昭17	四,000
78	画聖セザンヌ	ギヤスケ	成田訳	昭	昭17	七,000
79	浮世絵の顔	下巻 吉川観方編		昭	昭33	四,000
80	電気機関車教範	宮沢永吉		昭	昭19	六,000
81	日本童話名作選	童話作家協会		昭	昭16	五,000
82	われ等の空軍	大場弥平		昭	昭15	五,000
83	嵯峨野集	第一、三集 鈴鹿野風呂	和一映三冊	昭	昭26	三,000
84	北国奇談檣の橘	ポール本		明	明22	六,000
85	浮世風呂	式亭三馬	ポール本	明	明18	六,000
86	困基定石集	一〜四揃		明	明治	八,000
87	泣虫寺の夜話	岡本一平		大	大11	五,000
88	どこか実のある話	岡本一平		昭	昭3	一〇,000
89	饗庭簞村集			昭	昭7	六,000
90	満洲事変写真真帖	国防智識普及会		大	大11	四,000
91	星座の親しみ	山本一清		昭	昭18	六,000
92	原色園芸植物図譜	上中下		昭	昭18	三,000
93	野鳥歳時記	山谷春樹		昭	昭8	五,000
94	南方昆虫紀行	石井 悌		昭	昭8	五,000
95	鳥の生活と談叢	藤沢衛彦		昭	昭17	四,000
96	鳥と獣	内田清之助		昭	昭36	五,000
97	ホタルの研究	南富市郎		昭	昭36	三,000
98	狩猟	大場弥平		昭	昭17	一〇,000
99	日本鳥類狩猟法	堀内謙位		昭	昭18	一〇,000
100	南洋有毒魚類調査報告	日本水産研究所		昭	昭5	八,000
101	飲酒と犯罪及禁酒	自然科学双書第二編		明	明45	八,000
102	人類	鈴木文太郎		昭	昭24	六,000
103	現代人の暦	D C ビーティー著	丘、今永共著	昭	昭16	八,000
104	太平洋史リゼンバーグ著	太平洋協会訳		昭	昭5	四,000
105	スキー写真帖	銀盤に描く	小秋元隆邦	昭	昭5	四,000

〒600 京都市下京区七条通堀川角

谷 書 店

電話(〇七五)三六一七六九五
振替 京都 一六一二七九

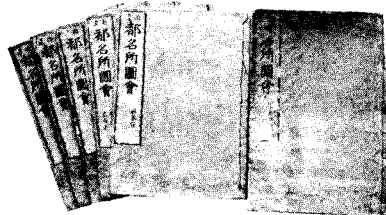


能楽図絵 木版彩色256図 大揃三帖 明30七五〇〇〇〇
稲垣稔次郎版画 小品 43枚 昭和35 二五〇〇〇
小西誠一郎創作版画 自刻自刷 10枚 昭和35 一〇〇〇〇〇〇

〒612 京都市伏見区深草稲荷鳥居前町22

山 崎 書 店

電話(〇七五)六四一四七三七六
郵便振替 京都 一八三三六



17 都名所図會 拾遺共 安永9年・天明7年 11冊 ¥65,000



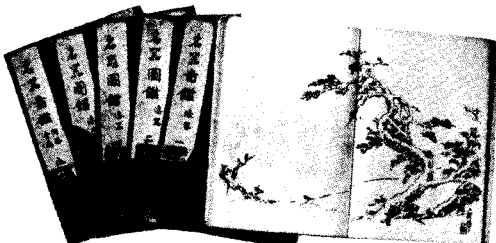
18 花落細見圖 全15冊

七〇,〇〇〇円

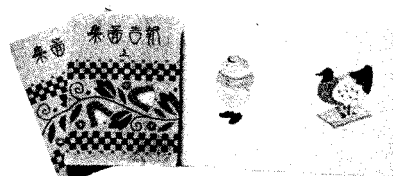
- 1 増補京都叢書 全二十冊 同刊行会行会 昭9 三、〇〇〇
- 2 京都府地名大辞典 全一冊 角川書店 昭57 一〇、〇〇〇
- 3 京都事典 東京堂 昭54 三、八〇〇
- 4 京都に於ける日本書史神崎憲一郎 京都精版印刷社 昭4 二、〇〇〇
- 5 京都画壇 橋本喜三郎 三彩社 昭43 二、〇〇〇
- 6 日本画沿革史 兼松亀吉 東陽堂 明45 二、〇〇〇
- 7 新京都名勝誌 京都市役所 大4 三、〇〇〇
- 8 門一京都 下村泰一 同観光連盟 昭42 一、八〇〇
- 9 京の庭 京都叢書(一) 重森三玲 高桐書院 昭21 一、五〇〇
- 10 史蹟 京都行脚 川勝政太郎 スズカケ出版 昭3 一、八〇〇
- 11 京焼百年の歩み 京都陶器協 昭37 三、〇〇〇
- 12 京都府資料所在目録 府立総合資料館 昭43 八、〇〇〇
- 13 伏見人形の原型 限定 大西重太郎 昭51 一、八〇〇
- 14 京都民家講 毎日新聞京都支局編 資料刊行会 昭55 三、〇〇〇
- 15 大野徹高の花 限定(〇) アイリントス 京都書院 昭50 四、〇〇〇
- 15 西陣織物館記 前田達三 同館 昭35 二、六〇〇
- 16 龍谷大学三百年史 同出版部 昭14 一、〇〇〇



19 都名所圖譜 上下 ¥20,000



21 名器圖鑑 全6冊 ¥25,000



20 報告圖集 非売品 大4 ¥28,000

福田屋書店

電話(〇七五)七八一三三六

- 〒606 京都市左京区田中里ノ前町56
- 1 維新を語る 下中弥三郎 平凡社 箱入 昭9 二、〇〇〇
 - 2 明治維新創業の巨星を語る 洛北隠士 昭6 二、〇〇〇
 - 3 歴史と人間 白柳秀湖 昭11 二、〇〇〇
 - 4 聖堂東郷平八郎伝 清浦奎吾 昭9 二、〇〇〇
 - 5 聖堂夜話 檀友会版 昭13 二、〇〇〇
 - 6 益田孝雅話 山田武太郎 昭11 二、〇〇〇
 - 7 三井物語 山田武太郎 昭11 二、〇〇〇
 - 8 三井読本 重細亜書房 昭18 二、〇〇〇
 - 9 我等の日本精神 徳富猪一郎 昭11 二、〇〇〇
 - 10 水崎基一先生追悼 浅野綜合中学校 昭13 二、〇〇〇
 - 11 樂堂百種記念集 一 医界操觚五十年 山谷徳治郎 昭10 二、〇〇〇
 - 12 日本富豪の家憲 墨堤隠士 汚 昭35 二、〇〇〇
 - 13 ウエブスター氏和訳字彙 イーストレーキ 共訳 昭39 二、〇〇〇
 - 14 プリンク和英大辞典 南條文雄三省堂共訳 昭39 二、〇〇〇
 - 15 ヒットラーわが闘争 大久保康雄訳 昭12 二、〇〇〇
 - 16 ヒットラーメインカンフ研究 石川準十郎 昭19 二、〇〇〇
 - 17 ユダヤ民族の世界支配 安江仙弘 昭8 二、〇〇〇
 - 18 ユダヤ問題と歴史 日本歴史 三村三郎 昭28 二、〇〇〇
 - 19 ユダヤ人の対日攻勢 武藤貞一 昭13 二、〇〇〇
 - 20 明治廿八年度京都地方税収支精算報告書 昭13 二、〇〇〇
 - 21 京都高工会々報 昭7-14 六、〇〇〇
 - 22 歩兵新選組 昭7-14 六、〇〇〇
 - 23 軍歌選抄 佐佐木信綱 兵書出版社 昭13 二、〇〇〇
 - 24 天才論 ロンプロゾ 辻潤 中央公論社 昭14 二、〇〇〇
 - 25 ドニイズ 堀口大学訳 辻潤 改造文庫 昭5 二、〇〇〇
 - 26 標準学生版画工作 技法・解説徳力富吉郎 昭8 二、〇〇〇
 - 27 撃剣と柔術図解附繩縛の法 亀山大城 汚 昭32 二、〇〇〇
 - 28 教育思潮大観 中島半次郎 背損 昭10 二、〇〇〇
 - 29 子供への理解 齋田静志 刀江書院 書院 昭10 二、〇〇〇
 - 30 子供研究講座 全十巻 日本児童教育協会編 先進社 昭3 二、〇〇〇
 - 31 内外教育双書 ①教育心理学(檜崎) ③新教育方法の研究(入沢) ⑤理想の学校(小原) ⑦道德教育論(佐々木秀) ⑧芸術教育論(小林) 大12・13 各二、〇〇〇

三密堂書店

電話(〇七五)三五一一九六六三

- 〒600 京都市下京区寺町通仏光寺下ル
- 1 日本仏教の研究 常盤大定著 春秋社 昭18 六、〇〇〇
 - 2 日本仏教の開展とその基調 慈弘著 三省堂 昭43 八、五〇〇
 - 3 大乘仏教の成立史的研究 宮本正尊著 三省堂 昭47 七、〇〇〇
 - 4 仏教經典を語る 山辺習学著 大東出版 昭9 三、〇〇〇
 - 5 仏教の由来 梅本苦佃著 大東出版 昭21 三、〇〇〇
 - 6 新文化原理としての仏教 高橋順次郎 大衆出版 昭12 一、五〇〇
 - 7 釈尊物語 山辺習学著 大衆出版 昭12 一、五〇〇
 - 8 中論と他力信仰 稲津紀三著 大東出版 昭10 二、〇〇〇
 - 9 聖徳太子奉讃講話 眺鳥敏著 東方書院 昭10 五、〇〇〇
 - 10 弘法大師の理想と芸術 佐和隆研著 高野山 昭23 二、五〇〇
 - 11 弘法大師御靈驗記 金箱俊弘著 同刊行 昭15 二、五〇〇
 - 12 弘法大師 蓮生觀善著 高野山 昭8 六、〇〇〇
 - 13 弘法四度行記二冊 渋谷善鑑著 鷗院 昭10 八、〇〇〇
 - 14 六本 四度行記二冊 梅田圓鈔編 金声堂 昭14 六、〇〇〇
 - 15 台門行要抄 中村吉藏著 大東出版 昭7 二、〇〇〇
 - 16 無門關解 紀平正美著 岩波書店 昭7 二、〇〇〇
 - 17 廣義御義口伝・日向記 高橋善中著 平樂寺 昭4 一、五〇〇
 - 18 新訳法句經講話 渡辺昭宏著 大法輪 昭26 二、〇〇〇
 - 19 新訳法句經講話 三井晶史著 甲子社 大15 二、〇〇〇
 - 20 平易に説いた華嚴經 吉祥真道著 大法輪 昭5 二、〇〇〇
 - 21 平易に説いた華嚴經 三井晶史著 甲子社 大15 二、〇〇〇
 - 22 新撰法華經講義 里見達雄著 北斗書院 昭11 二、〇〇〇
 - 23 新撰法華經講義 三村日謙著 信念舎 昭36 二、〇〇〇
 - 24 観音經法華經 岡本かの子著 大東出版 昭9 一、五〇〇
 - 25 観音經法華經 沢木興道著 東見社 昭19 一、五〇〇
 - 26 観音經法華經 清水谷恭順著 実業之日本 昭6 二、〇〇〇
 - 27 新訳観音經講義 沢木興道著 堀書店 昭23 一、〇〇〇
 - 28 観音經講話 新井石神著 日本放送 昭9 二、〇〇〇
 - 29 観音經講話 高神覺昇著 第一書房 昭11 二、〇〇〇
 - 30 般若心経講話 大洞良雲著 大法輪 昭19 一、五〇〇
 - 31 般若心経講話 大洞良雲著 大法輪 昭19 一、五〇〇
 - 32 般若心経講話 大洞良雲著 大法輪 昭19 一、五〇〇
 - 33 般若心経は何を説くか 持田閑堂著 宝文館 昭13 一、五〇〇

北御所書房壬生営業所

電話(〇七五)三一五一五六〇

住所変更

- 〒604 京都市中京区壬生下溝町七一
- 藤原学
- 御注文は右記のところへ御願ひ申し上げます。
- 1 日本漢方医薬之変遷史 小泉栄次郎 昭9 六、〇〇〇
 - 2 正倉院薬物を古代石薬の研究 益富勇之助 昭32 四、〇〇〇
 - 3 網要薬用植物学 少階線傍 佐藤敏雄編 昭9 二、八〇〇
 - 4 網要薬用植物学 青木 信一 昭16 二、〇〇〇
 - 5 昭和本草 井上敬道編 昭12 二、〇〇〇
 - 6 食用木の芽 久保田 稔 昭19 二、〇〇〇
 - 7 日本製麻史 高谷 光雄 昭40 一、〇〇〇
 - 8 熱帯植物図譜 瀬川弥太郎 昭18 二、〇〇〇
 - 9 多肉植物の培養 長岡 行夫 昭9 一、五〇〇
 - 10 六甲山の植物 初版カバー 小島吉五郎 昭19 三、五〇〇
 - 11 日本文学植物美観 志田 義秀 昭41 三、八〇〇
 - 12 花と文学 松田 修 昭34 二、八〇〇
 - 13 植物と生活 平安神宮刊 昭56 三、八〇〇
 - 14 植物と生活(平安の草木) 本田 正次 昭16 一、〇〇〇
 - 15 動物文学 23より12冊 同 研究会 大6 二、五〇〇
 - 16 動物文学 23より12冊 同 研究会 大6 二、五〇〇
 - 17 高山植物実物標本 25種 安久 一成 昭43 三、六〇〇
 - 18 ロッククライミング アルプス 毎日新聞社 昭45 一、五〇〇
 - 19 チョゴリザ登頂 初版カバー 桑原武夫 昭34 二、五〇〇
 - 20 処女峰アンナプルナ初版カバー 近藤 等訳 昭28 二、〇〇〇
 - 21 北アルプス カバー附図2枚欠 小笠原 昭15 三、五〇〇
 - 22 近畿の山と谷 改訂増補カバー 住友山岳会 昭11 二、〇〇〇
 - 23 京都北山と丹波高原 三版 森本 次男 昭17 一、〇〇〇
 - 24 京都山岳 496、505内9冊 孔版 同会刊 昭41 四、〇〇〇
 - 25 岩の呼ぶ声 初版函 藤木 九三 昭42 四、〇〇〇
 - 26 野球の知識 森 秀雄 大15 一、五〇〇
 - 27 野球清談 飛田 穂洲 昭15 一、八〇〇
 - 28 佐藤次郎 早大野球部他編 昭 二、〇〇〇
 - 29 フェアウェイの彼へ ポビー・ジョーンズ 昭9 二、〇〇〇
 - 30 拳闘の見方 荻野 貞行 昭6 一、五〇〇

〒606 京都市左京区北白川久保田町64の5

社会科学系
外山書店

電話(〇七五) 七〇一六六二七
振替 京都市 九一六二八四

- 1 社会構成史体系 全9箱 日本評論社 昭24 三,〇〇〇
- 2 講座社会学 全10冊 東大出版 昭33 一五,〇〇〇
- 3 都市問題講座 全8巻 有斐閣 昭45 一六,〇〇〇
- 4 東京百年史 全7冊 東京都 昭47 三〇,〇〇〇
- 5 インターナショナル号(昭2) 96号 産業労働調査所(昭8) 内欠22冊 96号
- 6 ソ同盟科学アカデミー植民地・従属国の歴史 全3冊 園部四郎訳 昭29 三,〇〇〇
- 7 列国に於ける共産主義運動 上・下 内閣情報部 昭14 三,〇〇〇
- 8 ヤロスラフスキー・ロシア共産党史 全2冊 田畑三四郎訳 昭6 一五,〇〇〇
- 9 資料日本社会運動史 全2冊 田中惣五郎 昭22 三,〇〇〇
- 10 現代史資料 全46冊 みすず書房 昭55 二〇,〇〇〇
- 11 社会問題資料叢書 第一輯 東洋文化社 第一回昭46 終第一〇〇回昭53 配本揃 六五,〇〇〇
- 12 社会問題資料叢書 第二輯 東洋文化社 特別高等警察資料 全5冊 昭49 三,〇〇〇
- 13 特別高等警察資料 全5冊 昭49 三,〇〇〇
- 14 講座現代のイデオロギー 全6冊 井汲卓一郎他 昭37 一〇,〇〇〇
- 15 田中正造全集 全20冊 岩波書店 昭55 一〇,〇〇〇
- 16 週刊平民新聞 全4冊 服部・小西監 昭33 四,〇〇〇
- 17 近代民衆の記録 全10冊 新人物往来社 昭43 五〇,〇〇〇
- 18 人類愛 第一輯(昭5) 第六輯(昭11)揃 関東水平社 昭生聯盟・坂本清作編 昭五,〇〇〇
- 19 戦後部落問題の研究 全7冊 部落問題研究所 昭50 三,〇〇〇
- 20 京都府同和地区住民生活実態調査報告書 統計編・解説編 2冊 京都市 昭48 四,〇〇〇
- 21 兵庫県同和教育関係史料集 全3冊 兵庫県部落史研究委員会 昭49 五,〇〇〇

- 22 解放教育の成立と展開 全3冊 部落解放教育資料集成 昭56 一八,〇〇〇
- 23 日本労働協会雑誌 同協会 昭56 二〇,〇〇〇
- 24 静岡県労働運動資料 上・下 静岡県評 昭55 四〇,〇〇〇
- 25 日本労働運動資料既刊分全8冊 同委員会 昭50 五〇,〇〇〇
- 26 労働調査報告復刻版全13冊揃 大阪市役所 第1 50輯(大8) 15年刊 昭55 九〇,〇〇〇
- 27 福島県警察史 全2巻 同編さん委 昭57 四〇,〇〇〇
- 28 京都府警察史 第1・2巻(2冊) 同編集會 昭50 二五,〇〇〇
- 29 大阪府警察史 全3冊 同編集會 昭45 二五,〇〇〇
- 30 奈良県警察史 全2冊 同編集會 昭53 三六,〇〇〇
- 31 復刻奇兵隊日記 全4冊 陸書房 昭42 四〇,〇〇〇
- 32 大西郷全集 全3冊 同刊行會 昭2 二七,〇〇〇
- 33 伊藤博文伝 全3冊 春秋公追頌會 昭16 四四,〇〇〇
- 34 山本条太郎伝記・論策12翁追憶録 全4冊 同編 昭17 六六,〇〇〇
- 35 加藤高明 上・下 同伝記編纂委 昭4 一五,〇〇〇
- 36 近衛文麿 上・下 同刊行會 昭27 三〇,〇〇〇
- 37 伯爵清浦奎吾伝(改装本) 上・下 同刊行會 昭10 一四,〇〇〇
- 38 太平洋戦争への道 全8冊 朝日新聞社 昭38 三六,〇〇〇
- 39 判例タイムズ 創(昭23) 456号(昭57)揃 三〇,〇〇〇
- 40 最高裁判所判例集 最高裁判所 17巻(昭39) 35巻4号(昭57)揃 七〇,〇〇〇
- 41 現代行政と官僚制 辻清明還暦記念 昭49 三〇,〇〇〇
- 42 仮処分の研究 上下 村松俊夫還暦記念 昭41 二六,〇〇〇
- 43 法律進化論 全3冊 穂積陳重 昭2 二六,〇〇〇
- 44 徳川禁令考 全11冊 石井良助校訂 昭36 六〇,〇〇〇
- 45 御触書集成 全5冊 高柳・石井編 昭51 四九,〇〇〇
- 46 法制史の研究 正統 三浦周行 昭48 二〇,〇〇〇
- 47 明治法制史論公法之部 上下 小早川欣吾 昭15 四四,〇〇〇
- 48 近世藩法資料集成 全3冊 昭17 19 六〇,〇〇〇
- 49 京都帝大法学部日本法制史研究室編 家族問題文獻集成 戦後家族問題研究の歩み 歐文編共 全2冊 京大人文研 昭45 三〇,〇〇〇
- 50 家族法判例集成 日本家族法判例の承襲 1 追録共 全2冊 京大人文研 太田武男編 昭44 六〇,〇〇〇

- 51 家族法文獻集成 戦後家族法學の歩み 京大人文研 太田武男編 昭44 三六,〇〇〇
- 52 「家」制度の研究 資料篇3 福島正夫編 「家」制度立法資料と戸籍法令 昭42 三五,〇〇〇
- 53 犯罪公論1巻(昭6) 2巻9号(昭7)揃 四六書院 昭40 一五,〇〇〇
- 54 手形法・小切手法講座 全5冊 有斐閣 昭40 一五,〇〇〇
- 55 季刊理論經濟學 理論・計量經濟學會 創(昭25) 32巻揃(含復刻版) 昭45 七五,〇〇〇
- 56 日本經濟史文獻 全6冊 本庄栄治郎編 昭45 七五,〇〇〇
- 57 小林昇經濟學史著作集 全9冊 未來社 昭51 一七,〇〇〇
- 58 笠信太郎全集 全8冊 朝日新聞社 昭44 一八,〇〇〇
- 59 大塚久雄著作集 全10冊 岩波書店 昭45 三五,〇〇〇
- 60 經濟地理學年報 1巻(昭29) 26巻(昭55)揃 同學年 昭47 三〇,〇〇〇
- 61 講座近代經濟學批判全5冊 岸本・都留監 改造社 昭32 三六,〇〇〇
- 62 近世社會經濟叢書 全12冊 竹越与三郎 昭11 一五,〇〇〇
- 63 日本經濟史 全12冊 改造社 昭2 一〇,〇〇〇
- 64 金融事項參考書白明26至明45年(復刻版) 全14冊 大藏省 昭47 一〇,〇〇〇
- 65 現代金融經濟全集 全25巻 改造社 昭10 三〇,〇〇〇
- 66 ドラッカー全集 全5冊 日エヤモンド社 昭36 一五,〇〇〇
- 67 體系近代會計學 全9冊 中央經濟社 昭46 三五,〇〇〇
- 68 財界人思想全集 全10冊 日エヤモンド社 昭46 三五,〇〇〇
- 69 本邦納糸紡績史 全7冊 絹川太一編 昭12 一七,〇〇〇
- 70 井上晴丸著作選集 全7冊 雄渾社 昭48 一五,〇〇〇
- 71 日本農業全集 全17冊 農文協 昭52 一五,〇〇〇
- 72 農地制度資料集成 全12冊 同編纂委員會 昭48 二〇,〇〇〇
- 73 滋賀県市町村沿革史 全6巻 滋賀県 昭42 五〇,〇〇〇
- 74 京都府統計史料集 京都府 昭45 六〇,〇〇〇
- 75 大阪府誌 全5巻(復刻大4) 同誌 昭27 一〇,〇〇〇
- 76 佐賀市史(復刻版) 上下 佐賀市役所 昭27 一〇,〇〇〇
- 77 定本柳田国男集 全36冊 筑摩書房 昭49 七〇,〇〇〇
- 78 講座中国 全6冊 筑摩書房 昭43 一五,〇〇〇
- 79 橋樑著作集 全3冊 勁草書房 昭41 三五,〇〇〇
- 80 中国農村慣行調査(復刻版) 全6冊 同刊行會 昭54 五〇,〇〇〇
- 81 阪田幾太郎全集 全19冊 西 岩波書店 昭41 五〇,〇〇〇

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
電話(075-231-1914) 振替 京都 8-615

短冊 (室町期→江戸初)

1 妙法院寛胤法親王 残雪

きえやうで山のかひある春の雪を
たれか都にながめつゝなむ

天文10年歿 二五,000円

2 梶井堯胤法親王 志賀浦

時しあれば志賀の浦波立かへり
はなにもなれめ代々の故郷

永正16年歿 一五,000円
(浦三行)

3 滋野井教国 秋時雨

山の葉のらしはもよほす夕時雨
いつふりかへて響にみてまじ

明応9年歿 二五,000円

4 山科言国 野雪

たつ杉のしるしも雪にうつもれて
ふる川野へはそこしもなし

文龜2年歿 二五,000円

5 綾小路俊量 秋の野

をく露のきゆるをみてそ秋ことに
その名もしるさあだしの原

永正15年歿 二五,000円

6 姉小路濟継 初恋

ゆくまなきいつの雲の初しぐれ
おもひもあへぬ離れとふらん

永正15年歿 二五,000円

7 持明院基規 岡新樹

春秋の梢もわかしげり行
おかへの松のみどりこそ

天文20年歿 三〇,000円
(有七次掛)

8 高倉永孝 尋山花

ゆく方はまだ見ぬ花のかけながら
ころに匂ふよまさくら哉

慶長12年歿 一五,000円

9 清閑寺共房 尋虫声

いづくともさだめかねてや尋入
露ふかきの、むしの声々

寛文元年歿 三〇,000円

10 日野資茂 折花

おればこそ世にしられられぬなき
みやまさくらのか、るさかりも

貞享4年歿 八,000円

11 妙心寺鉄山宗純 七絶詩(24×21櫃)

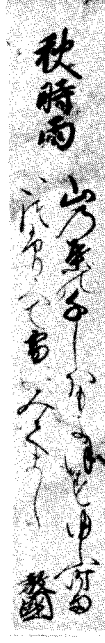
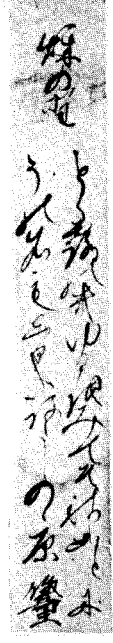
炎天雪窓 神田道儀極札付美二枚 五,000円

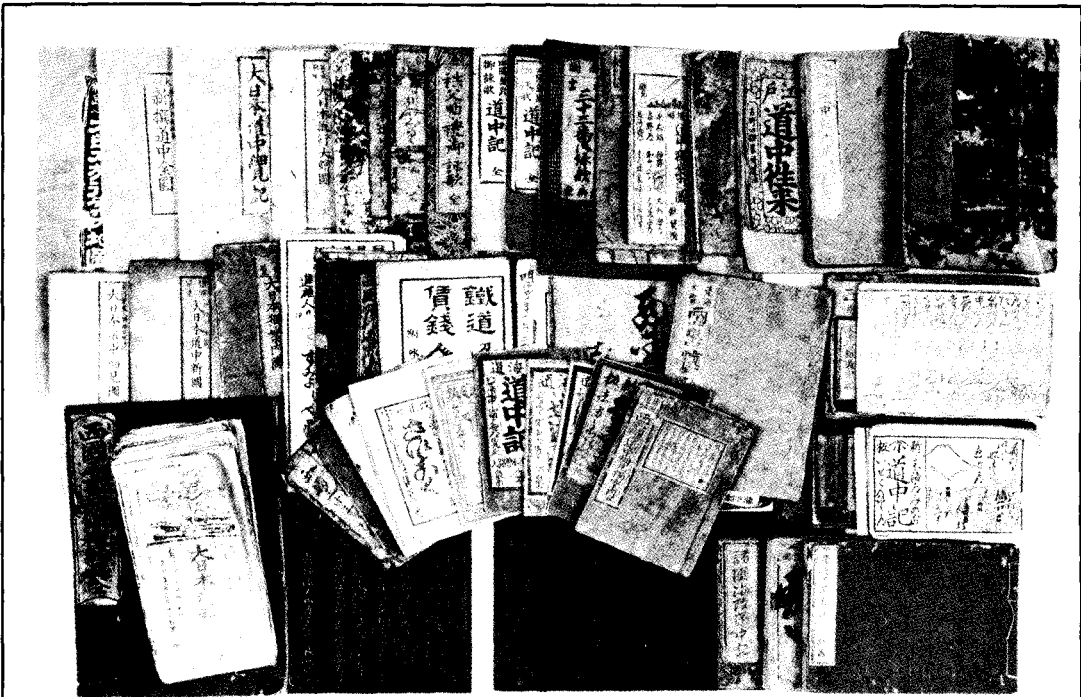
雲霞花飛天六月
百千眩 濟氣飄々
全才凍 終中三聖
喝到 勁草亦小酒

12 天龍寺周良策彦 七絶詩

(16×15櫃)無落款 閑郷卜屋
神田道伴極札付 一枚 三〇,000円

閑郷卜屋
少秋袖 嘉侍世蘭
の 結真病 火地地
五陵幸少 相阿阿
宗頭 一草長





道中記・独案内四十一一点一括

(内訳)

- 1 道中一覽大日本独案内図 文政五年 一帖
- 2 大日本道中細見記 友崎松旭図 一帖
- 3 大日本行程大絵図 彩色木版 ッカレ本 一帖
- 4 諸国早見大日本道中新図 銅版 裏表紙欠 慶応元年再刻 一帖
- 5 大日本道中独案内 銅版彩色 山田安貞 明治十年 一帖
- 6 大日本新撰道中全図 銅版彩色 明治十一年 一帖
- 7 大日本道中細見図 銅版 名所図入 井上茂兵衛 明治十四年 一帖
- 8 大日本旅行大絵図 銅版彩色 平野伝吉 明治十五年 一帖
- 9 一新講社早見道中記(新潟以北) 文字富之助 明治十五年 一帖
- 10 鉄道及外国汽船貨錢人口表 外国名所図入 銅版 倉島伊左エ門 明治二十五年 一帖
- 11 大日本旅行案内地図 明治三十八年 一帖
- 12 南遊紀行卷之下 貝原益軒 正徳三年 一冊
- 13 和州巡覽記 貝原益軒 後刷 一冊
- 14 諸国海陸道中記 延享四年 一冊
- 15 東海道千里の友 享保十七年 一冊
- 16 東海木曾両道中懷宝図鑑 天保十二年 一冊
- 17 諸国道中たび鏡 彩色図入 一冊
- 18 江戸道中往来(仙台より江戸・頭書仙台より 柴山楨胤 弘化四年 一冊
松前道中歌往来) 江戸 一冊
- 19 東海道・みのち・いせ・こんびら道中記 江戸 七丁 一冊
- 20 東海道道中記 江戸 六丁 一冊
- 21 大字改板 ちちぶ 八丁 一冊
- 22 秩父順礼御詠歌 明治六年 十丁 一冊
- 23 秋葉道中記 一枚刷 安政三年 一冊
- 24 中仙道道中記 江戸 六丁 一冊
- 25 木曾道中記 文政五年 五丁 一冊

- 26 信濃善光寺御詠歌 江戸 四丁 一冊
- 27 板木 さい国三十三所じゆんれい歌 二枚
- 28 西国順礼道中絵図(再版) 年不明 平野屋茂兵衛 一冊
- 29 西国三十三番順礼友力 元禄十四年か 宝曆三年 一冊
- 30 西国順礼道中記(仮) 嘉永四年再刻 一冊
- 31 西国道中細見独案内 天保版明治刷 一冊
- 32 西国順礼早引道中記 文化四年 五丁 一冊
- 33 金比羅道中記 錦耕堂 九丁 一冊
- 34 西国順礼細見大全 朱線アリ 文政八年 一冊
- 35 西国大宇三十三番御詠歌 錦耕堂 九丁 一冊
- 36 西国三十三所じゆんれい歌 江戸 五丁 一冊
- 37 校正新刻四国八十八ヶ所山開 明治 一冊
- 38 絵入四国八十八ヶ所山開 明治 一冊
- 39 改正大字さいごく 明治 九丁 一冊
- 40 四国靈場略縁起道中記大成 明治 一冊
- 41 四国編路御詠歌道中記 明治 一冊

- 以上一括 三十五万円

千 530

大阪市北区芝田一丁目六番二号
阪急古書のまち

臨川書店 大阪店

電話(〇六)三七四一・三〇〇〇
振替 京都 八〇〇〇〇〇

営業時間 午前十一時—午後八時
定休日 毎週水曜日

〒606 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12

石川古本店

電話(〇七五)七二一五四二九九
振替 京都 七三二〇八九

1	季刊 銀花 創刊号	昭45	一八〇〇〇
2	季刊 銀花 第三号	昭45	一〇〇〇〇
3	季刊 銀花 第四号	昭45	一〇〇〇〇
4	季刊 蓄 創刊号	昭45	一〇〇〇〇
5	季刊 蓄 第二号	昭45	一〇〇〇〇
6	季刊 蓄 第三号	昭45	一〇〇〇〇
7	銀花 69年9月号(特集京都)	昭44	一〇〇〇〇
8	路 西山街道 明永恭典	昭48	一、五〇〇
9	路 奈良街道 明永恭典	昭48	一、五〇〇
10	路 東山と東大路通 明永恭典	昭48	一、五〇〇
11	路 千本と朱雀大路 明永恭典	昭47	一、五〇〇
12	京都地方貯金局沿革史	昭30	二、五〇〇
13	大京都誌 野中風童	昭7	五、〇〇〇
14	京都府立医科大学百年史	昭49	三、五〇〇
15	京都大学防災研究所十年史	昭36	一〇〇〇〇
16	京都府保健事業協同組合三十年史	昭57	二〇〇〇〇
17	全京都建設協同組合史	昭50	三、五〇〇
18	組合史 西陣織物工業組合	昭47	二、八〇〇
19	京都タワー二十年の歩み	昭54	三、〇〇〇
20	京都の美術Ⅱ 京都の洋画資料研究 昭50年頃	昭54	二、〇〇〇
21	京都の地名	昭54	七、五〇〇
22	京を訪ねて(和木)	昭54	三、〇〇〇
23	五十年の歩み 京都府製本工業組合	昭48	二、〇〇〇
24	京都市職労二〇年史	昭46	三、〇〇〇
25	京都物語 貞下五一 隆文館	昭32	一、〇〇〇
26	京都古蹟行脚 川勝政太郎 臼井書房	昭24	二、〇〇〇
27	京都風土記 大塚五郎 大雅堂	昭20	一、〇〇〇
28	京なまり 三浦薫雄 近江書房	昭24	一、五〇〇
29	京に田舎あり 宮崎小次郎 晃文社	昭17	一、八〇〇
30	春の京洛 田中左川 文友堂	昭12	二、五〇〇
31	手描友禰 前原利男・著名入り	昭49	一、五〇〇
32	※新店舗開店致しました。毎月第一月曜は全商品八、〇〇〇		
33	一割引きのサービス日です、一度御来店下さい。		

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル

沢田書店

電話(〇七五)四五一〇五三三
振替 京都 四九一四八

1	ヱアレリー全集 全十四冊揃函付美 筑摩書房	昭52	四〇〇〇〇
2	ベルグリン全集 全九冊揃函付美 白水社	昭52	三、〇〇〇
3	芥川賞全集 全十二冊揃函付美 文芸春秋社	昭57	一七、〇〇〇
4	その夜 全三冊 長興善郎 朝日新聞社	昭23	四、〇〇〇
5	初期ノット増補版 吉本隆明 試行双刊一集 昭45	昭45	二、五〇〇
6	島尾敏雄論 森川達也 函付 審美社	昭47	一、八〇〇
7	当世風人伝 富岡多恵子 初版帯付 講談社	昭52	一、五〇〇
8	女流作家論 奥野健男 初版 第二文明社	昭49	一、五〇〇
9	榎本武揚 安部公房 初版函付 中央公論社	昭40	一、五〇〇
10	19階日本橋丁 堀田善衛 初版函付 朝日新聞社	昭47	一、五〇〇
11	民活シリーズ 五冊揃 山田野理夫 星光社	昭47	二、五〇〇
12	西条八十詩話全集(7)抒情詩集 千代田書院	昭10	一、〇〇〇
13	鉄路のうたごえ 狂情詩集 三二書房	昭29	一、二〇〇
14	改訂荒地ユリオット、西脇詠カバ付 創元社	昭33	一、八〇〇
15	コルボウ詩話 限定版 昭26	昭26	二、〇〇〇
16	国語学 三木 中西著 函付 風間書房	昭41	一、〇〇〇
17	国語学史 三木、福永著 函付 風間書房	昭42	一、〇〇〇
18	群馬廢娼記ほか 藤田徳松 函付 法律文化社	昭43	三、〇〇〇
19	異國遊覧面列伝旅芸人新案書 宮岡謙二 私家限定本	昭29	一、五〇〇
20	最初の衝突 岩倉政治 志功装 百華苑	昭22	一、〇〇〇
21	龍樹の衝突 岩倉政治 志功装 白水仙	昭28	四、〇〇〇
22	ユリシイズ チョイス 全四冊 岩波文庫	昭11	四、〇〇〇
23	回想のモリッッシュ 渋谷章 内田老鶴園	昭54	一、〇〇〇
24	原色園芸植物図鑑石井 穂坂編 全六冊函付は誠文堂新光社	昭29	九、〇〇〇
25	ドルメン特輯六月号 日本石器時代 博文館	昭32	二、〇〇〇
26	世界つ史譚三編 耶蘇 上田敏 博文館	昭10	一、五〇〇
27	名作挿絵全集 全十冊揃 平仄社	昭55	一、六〇〇
28	村瀬真治画集 函付 愛宕山画廊	昭48	三、〇〇〇
29	日本10景刑部人作品集 銀座美術館	昭48	一、八〇〇
30	展覧会源氏物語の美術 京都博物館	昭50	一、〇〇〇
31	速水御舟の芸術展 京都近代美術館	昭55	一、五〇〇
32	祇園祭お祭り絵本 田島征彦 童心社	昭51	一、〇〇〇
33	技に生きる 京都の伝統産業	昭53	一、〇〇〇

〒602 京都市上京区烏丸通り上御霊前下ル

萩書房

電話(〇七五)四三二一三七二二
振替 京都 八一四三六

1	講談社の絵本 吉田松陰	昭16	三、〇〇〇
2	講談社の絵本 加藤清正	昭12	三、〇〇〇
3	講談社の絵本 虫のイロイロ	昭16	二、〇〇〇
4	講談社の絵本 デンキノチカラ	昭16	二、〇〇〇
5	講談社の絵本 二宮金次郎	昭13	三、〇〇〇
6	講談社の絵本 リンカーン	昭12	三、五〇〇
7	講談社の絵本 伊藤博文	昭16	三、〇〇〇
8	講談社の絵本 東郷元帥	昭12	三、〇〇〇
9	講談社の絵本 明治天皇御絵巻	昭12	三、〇〇〇
10	講談社の絵本 日本童話集	昭12	三、〇〇〇
11	講談社の絵本 日本の名所	昭14	二、五〇〇
12	野球ファン創刊号 36頁	昭12	一、五〇〇
13	プレイボール創刊号 14頁 ニュースポーツ社	昭23	一、〇〇〇
14	東海野球界創刊号 32頁 共生出版社	昭22	一、五〇〇
15	ベースボールキョート創刊号 16頁	昭22	一、〇〇〇
16	野球界25巻2号春場所相撲号	昭9	一、〇〇〇
17	野球界26巻2号春場所相撲号	昭10	一、〇〇〇
18	野球界28巻10号相撲画報夏場所戦績・総評	昭13	一、〇〇〇
19	野球界29巻2号春場所相撲号	昭13	一、〇〇〇
20	野球界29巻9号夏場所相撲号	昭14	一、〇〇〇
21	野球界29巻12号相撲画報夏場所総評号	昭14	一、〇〇〇
22	野球界30巻2号春場所相撲号	昭15	一、〇〇〇
23	野球界30巻5号相撲画報春場所総評号	昭15	一、〇〇〇
24	野球界30巻9号夏場所相撲号	昭15	一、〇〇〇
25	野球界30巻12号相撲画報夏場所総評号	昭15	一、〇〇〇
26	野球界31巻2号春場所相撲号	昭16	一、〇〇〇
27	野球界31巻6号相撲画報春場所総評号	昭16	一、〇〇〇
28	野球界31巻12号夏場所相撲号	昭16	一、〇〇〇
29	野球界31巻26号春場所相撲号	昭16	一、〇〇〇
30	野球界32巻3号春場所相撲画報	昭17	一、〇〇〇
31	野球界32巻8号夏場所相撲画報	昭17	一、〇〇〇
32	野球界32巻11号夏場所相撲画報	昭17	一、〇〇〇
33	てっこつ No.1より No.27迄内No.6欠 鉄骨会昭30より	昭17	一、〇〇〇

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一
法律・経済思想
竹岡書店
電話(〇七五)七六一一四五五
振替 京都 五十四二六二二

地理・都市関係特集

1	現代中国地理	黄就順編・山下龍三訳	昭和45	一五〇〇
2	地理ハンドブック	織田武雄編	昭和45	一五〇〇
3	日本の国土	自然と開発 小出博全2冊	昭和48	三、五〇〇
4	社会地理学	マイヤー他著 石井他訳	昭和57	二、七〇〇
5	新訂 社会地理学の基本問題	水津一朗	昭和43	一、〇〇〇
6	社会的地理科学としての地理学	藤岡謙二郎	昭和43	六〇〇
7	環境の科学としての地理学	宮川・田辺	昭和46	一、〇〇〇
8	世界の文化地域と宗教	椎子二郎	昭和45	一、〇〇〇
9	都市地理学	山鹿誠次	昭和46	一、〇〇〇
10	扇状地	一 地域的特性 矢沢・戸谷他	昭和46	二、五〇〇
11	平野の地理	谷岡武雄	昭和48	一、五〇〇
12	平野の地形環境	日下雅義	昭和48	二、〇〇〇
13	気候学(現代地理学大系)	福井英一郎編	昭和46	一、八〇〇
14	孤状列島(現代科学選書)	上田・杉村	昭和45	一、五〇〇
15	自然環境の変貌	平野を中心として 多田	昭和46	一、八〇〇
16	自然地理調査法	三野与吉編	昭和43	一、〇〇〇
17	立地と環境	その地理的接近 渡辺利得	昭和44	二、〇〇〇
18	海洋の地理	山口平四郎	昭和44	六〇〇
19	日本の河川	自然火と社会史 小出博	昭和45	一、八〇〇
20	海岸に於ける諸作用と海岸線の発達	小出博	昭和51	三、五〇〇
21	地域開発の理論と実際	成田二郎 印有	昭和43	一、五〇〇
22	地域開発と地方都市	竹下昌三	昭和55	二、〇〇〇
23	地域開発計画	経営学的方法論	昭42	一、五〇〇
24	地域開発と大都市問題	総合政策研究会	昭40	二、五〇〇
25	大都市圏周辺の近代化に関する人文地理学的モノグラフ	大阪府下狭山町の場合	昭45	二、〇〇〇
26	都市と交通路の歴史地理学的研究	藤岡謙二郎編	昭42	二、〇〇〇

27	都市地理学原理	木内信蔵	昭57	三、八〇〇
28	日本の都市システム	地理学的研究 田辺健一郎編	昭57	五、二〇〇
29	都市問題事典	磯村英一編修印有	昭40	二、〇〇〇
30	古代都市	クーランジュ・田辺貞之助	昭43	八、〇〇〇
31	日本封建制下の都市と社会	原田伴彦	昭38	二、〇〇〇
32	講座 日本封建制下の都市と社会	第二巻機能と構造	昭58	四、〇〇〇
33	都市発達史研究	今井登志喜	昭42	二、八〇〇
34	日本都市成立史	都市建設資料集成 玉置	昭49	三、〇〇〇
35	近世都市の地域構造	その歴史地理学的研究 藤本利治	昭51	一、〇〇〇
36	大都市	ヒックス・橋本・熊勢他	昭51	一、八〇〇
37	オランダの総合開発計画	佐々波・尾上編	昭41	三、〇〇〇
38	イギリスの都市計画	計画許可制度の運用 山口周三	昭45	一、五〇〇
39	英国の都市計画法	ヒープ・竹内藤男	昭44	一、五〇〇
40	都市 人間生態学とコミュニティ論	パーク他・大道・倉田	昭47	一、〇〇〇
41	変動する大都市	都市スプロールの展望 ゴットマン他・飛鳥田	昭46	一、〇〇〇
42	人間・交通・都市	角本良平	昭49	二、〇〇〇
43	都市社会システム(システム工学講座)	石原舜介編	昭48	二、六〇〇
44	日本都市の発展過程	矢崎武夫	昭43	五、〇〇〇
45	都市の地域構造(叢書都市)	田辺健一	昭46	一、五〇〇
46	新しい都市理論	工業社会の都市過程 ライスマン・星野郁美	昭43	二、〇〇〇
47	時間の中の都市	内部の時間と外部の時間 リンチ・東大大会研究室	昭51	三、〇〇〇
48	都市構造の論理	ルウイス・吉原慎二郎他	昭49	四、〇〇〇
49	都市社会学	大橋・薫・近江哲男編	昭44	一、〇〇〇
50	都市化時代の開発政策	伊藤善市	昭44	一、〇〇〇
51	空間価値論	都市開発と地価の構造 早川和男	昭48	二、四〇〇
52	人間と空間	ホルノウ・大塚恵一他	昭54	二、三〇〇
53	日本の都市	建設省都市局編	昭41	一、五〇〇
54	日本の都市	建設省編	昭36	二、〇〇〇
55	日本の文学都市	野田幸太郎	昭35	二、五〇〇
56	都市の類型学	ウエーバ経済と社会 世良	昭43	二、五〇〇

57	都市の経済分析	山田浩之	昭55	二、五〇〇
58	都市経済学序説	トンプソン・伊藤善市他	昭46	一、三〇〇
59	都市と行政(叢書都市)	田村浩一他	昭46	六〇〇
60	都市と財政(叢書都市)	柏井象雄編	昭47	一、〇〇〇
61	都市と文明	古代から未来まで 川添登	昭41	一、五〇〇
62	現代都市論	柴田徳衛	昭43	一、〇〇〇
63	現代の大都市問題と都市政策	大阪市政調査会編	昭58	二、二〇〇
64	市民都市論	宮崎辰雄	昭46	二、五〇〇
65	大都市地域論	服部銜二郎	昭44	三、〇〇〇
66	京浜都市問題史	山田 操	昭49	三、五〇〇
67	東京大都市圏の研究	山鹿誠次	昭45	一、〇〇〇
68	地域社会と都市(都市開発講座)	大来編	昭42	一、〇〇〇
69	都市開発の展望(都市開発講座)	大来編	昭42	一、〇〇〇
70	都市問題概説	磯村英一・黒沼 稔	昭46	一、〇〇〇
71	20年後の都市生活	日本リサーチセンター	昭43	二、〇〇〇
72	都市と文化(明日の都市)	磯村英一監	昭55	二、〇〇〇
73	明日の都市問題	磯村英一	昭38	三、〇〇〇
74	日本のメガロポリス	その実態と未来像 磯村英一	昭44	二、〇〇〇
75	西山卯三著作集 全4巻	住宅計画・住居論・地域空間論 建築論	昭43	三、〇〇〇
76	住宅経営(住宅問題講座)	金沢良雄他	昭43	六〇〇
77	住宅計画(住宅問題講座)	金沢良雄他	昭43	二、〇〇〇
78	土地問題(住宅問題講座)	金沢良雄他	昭43	二、〇〇〇
79	空間と環境(21世紀の設計)	卯三編三編	昭46	二、〇〇〇
80	生活・住宅・地域計画	箱谷祐規	昭40	三、〇〇〇
81	ポリビア 土地・住民・制度	レオナード・沼田頼雄	昭38	二、〇〇〇
82	日本の地場産業	山崎 充	昭52	二、六〇〇
83	過疎問題と山村振興	山村振興調査会編	昭44	二、五〇〇
84	過疎と森林の生態学	菊地利夫	昭46	二、五〇〇
85	日本の経済空間	過疎地帯の経済開発 伊藤善一編	昭45	三、〇〇〇
86	水問題の原点	藤野良幸	昭52	三、〇〇〇
87	地下水資源学	広域地下水開発と保全の科学	昭48	三、六〇〇
88	江戸時代の交通	水収支研究グループ	昭45	三、五〇〇
89	日本港湾史論序説	田村栄太郎	昭47	二、五〇〇

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

大書堂

電話(〇七五)二二二一〇六八五
振替 京都 三一六五

神楽 松村梅叟画 白題共箱 絹本 131×21cm 五〇〇、〇〇〇円



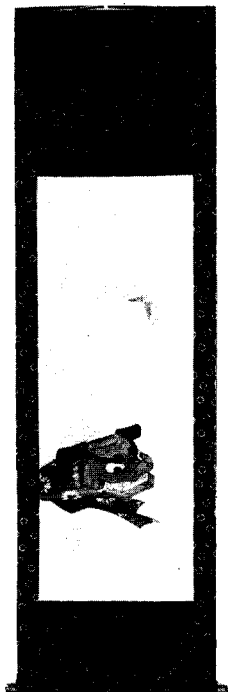
獅子頭 川崎巨泉画 紙本 共箱 130×20cm 一五〇、〇〇〇円



獅子頭 北上聖牛画 白題共箱 絹本 111×27cm 四五〇、〇〇〇円



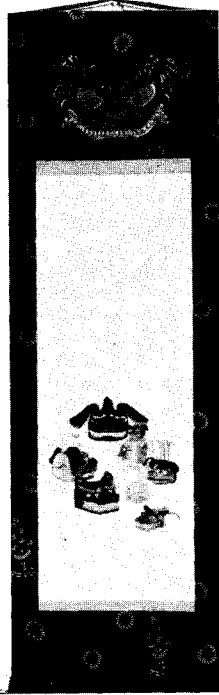
獅子頭 西沢笛畝画 白題共箱 117×42cm 三五〇、〇〇〇円



獅子頭と伊豆倉人形 永光画 絹本 共箱 126×32cm 一〇〇、〇〇〇円



獅子頭 祥湖画 絹本 112×41cm 一〇〇、〇〇〇円



寅のおもちや 川崎巨泉 紙本 白題共箱 125×28cm 二五〇、〇〇〇円



泉倉人形 川崎巨泉画 白題共箱 絹本 天地左右風帯一文字共自筆装 133×54cm 五〇〇、〇〇〇円



〒600 京都市下京区仏光寺通東洞院角

シルヴァン書房

電話(〇七五)三四一八七九三
振替 京都 一七九三三八

1	西洋をきざいた書物	カーター・ムーア 西洋書誌研究	八五〇〇
2	ケルムスコットプレス図録	関川左木夫 雄松堂	七〇〇〇
3	製本 その背景と技法	E デイビル DOVER 九〇	三、五〇〇
4	国際金貨アルバム	タルデイ	(仙)一九五八
5	仏国出版史(中世より十七世紀)	プロモティス	一九三〇〇
6	古書業者の爲の辞典 九ヶ国語	国際古書協会編	一九八三、〇〇〇
7	版画 美術史	M メロ他 リッペン	(仙)一九三三
8	芸術と芸術家の辞典	F アザン刊	(仙)一九三五
9	G ルー版	A ヴォフジイ	(英)一九六六
10	スタインベルグ	ザ・インスベクター	(英)一九六六
11	ポール クレー	内的視覚 水彩素描筆記 T & H	一九三三、〇〇〇
12	ポールゴーンギャン	45の手紙 V ゴッホと兄弟へ	一九六一、〇〇〇
13	アール デコ	V・アーワス ABRAMS	一九〇一、〇〇〇
14	リタリア リパティ	室内装飾 M ロッシ他	(伊)一九三三
15	フランス家具	P・クエリベルグ 2巻	(仙)一九六三
16	窓と扉 鉄細工	F・カーニ他	(英)一九六三
17	W モリス・染織	L・パリー VIKING	(英)一九六三
18	五〇年代 芝居史	A・ボニイ	(仙)一九三三
19	エキスポ ムーブル	79 80 家具展 スベイン	一九九一、〇〇〇
20	イタリアの新造形	3ヶ国語 BESTETTI	(伊)一九六三
21	ピクトリアタイル集	T A ロケット ACC	(英)一九九〇
22	ザテサーン	ドラマ P ジヤカ N D 国博	(伊)一九六三
23	中国概通	E G ルーダン	(仙)一九六三
24	欧米型押ガラス	コニンガラス美術館編	(英)一九六三
25	前口マンと初期ロマン	期ガラス コニン	(英)一九六三
26	マヤの死の書	F・ロビシエク ヤール大	(英)一九六三
27	デスシンボルの変態	K・コーヘン 大	一九七二、〇〇〇
28	地図に於ける投資	R B ウイリアムズ	(英)一九六六
29	鉛人形の収集手引	E オルトマン	(英)一九四〇
30	インド細密画 16、19世紀	R K タン	(英)一九三三
31	公演芸術	インド無踊と音楽 D ドシ MARG	一九三三、〇〇〇
32	B A G H 洞窟画	M M ラオ S A バハド	一九九一、〇〇〇
33	S H I V A J I とマラサ精神文化	S ドシ	(英)一九二二
34	インド絵画 情景、主題と伝説	ランダフ他	(英)一九二二
35	マドバニ絵画	U・タクル	(英)一九二二
36	中国文物図説	国立故宮中央傳手冊	(中)一九五四
37	仏陀の十の生涯	シャム寺院絵画と... E ウレイ他	二、五〇〇
38	中国名画集	J・カヒル スキラ版	(仙)一九二七
39	インド絵画	D・パレット スキラ紙	(英)一九六四
40	中央アジア絵画	M・ロバートソン スキラ紙	(英)一九六四
41	ギリシャ絵画	M・ロバートソン スキラ紙	一九九一、〇〇〇
42	エジプト絵画	A・メキタリアン スキラ	(英)一九六四
43	印度の文化概略	DR サチヤプラカシ	(英)一九二五
44	ベダンタ哲学	M S トリパチ ASIANS	(英)一九三三
45	マンダラ入門	C・山本 同朋社	(仙)一九二二
46	テリンドラの寺院	M・サルマ	(英)一九七五
47	インド考古学の新時期	K M スリワスタヴァ	(英)一九二七
48	チベット仏教	L A ヴァデル DOVER	(英)一九七一
49	サンスクリット英語辞典	T・ベンフエイ再版	(英)一九六一
50	インド神話学に於けるインドラとヴァルナ		(英)一九六一
51	バルチスタナ、ナンプール、モンドマスタング、ソール		一九八一、〇〇〇
52	インド芸術の審美的原理	DR P K アグラワラ	(英)一九三三
53	六十年インド、アマタバッドに於ける木綿布染		一九九一、〇〇〇
54	ゲドロジア考古紀行	オレリスティン	(英)一九二五
55	世界の芸術シリーズ 仏教芸術 エジプト 先史芸術		(英)一九六三
56	インドネシア、ローマ、中近東 エジプト		(英)一九六三
57	ピザンチン期アフリカ	2巻 C デイル再	(仙)一九六六
58	古い宝石 E スタイングレイパー T & H		(英)一九五七
59	初期アメリカ鍛金 A H ソン		(英)一九五七
60	ドレス史後期	ゴチック(西欧) 四巻 M・スコット	一七、〇〇〇
61	ドレス史	イタリア 四巻 J・ヘルルド	(英)一九二七
62	フランスゴチックの壁画	Y・ボスワイ	(仙)一九四〇
63	バロックとロココ	建築と装飾 A フラント	(英)一九五七
64	ヴァン・ゴッホ	J・レイマリエ テイヌ版	八、五〇〇
65	印象主義の歴史	J・リワード N Y 近景	(英)一九四九
66	G リット素描(大)	三巻 A ストロゲル	(英)一九六六
67	ロートレック	ルによる ロートレック P・HUISMAN	(英)一九二二
68	ブラック キュービズム	M A E G H T	(仙)一九二二
69	ピアズレー画集	B・リード	(英)一九六七
70	マックス エルンスト	人と作品 J・ラッセル	(英)一九二二
71	ミノトール	全三冊複製版 スキラ版	(英)一九六六
72	カンディンスキー	人と作品 G クローマン	(英)一九二二
73	スパチアニズモ	G ジアニ	(英)一九二二
74	元西来次来の芸術	M プリオン他 T & H	(英)一九六六
75	ザ・サボイ クリススマスカード付	再製本	(英)一九六六
76	プロビラン版	芸術史 全16巻 元版革装再製本	三〇、〇〇〇
77	マクロビル版	世界芸術百科辞典 全15巻	(仙)一九七五
78	キングドラーズ	絵画辞典 全15巻	(仙)一九六六
79	中国刺繍	36枚 FRNST	(英)一九二二
80	独立美術	一、一五 独立美術協会	(英)一九二二
81	古典芸術シリーズ	70冊 R I Z Z O L I 版	(英)一九五五
82	カリブ海の花	W・ホフマン P R E S T E L	(英)一九五五
83	ニュージランドの花と樹	原色版 30図	一九六七、〇〇〇
84	花のギヤラリ	G・バザン T & H	(英)一九六三
85	原色版園芸樹	H・スキナー	(英)一九六四
86	シンボリズム	R・ゴールドウイター	(英)一九七六
87	春画々集	C・ケロスボワ ナゲール	(英)一九六三
88	秘画	クロンハウゼン	(仙)一九二二
89	歌枕	日本の秘画芸術 O D L	(仙)一九二二
90	雲雨	中国の秘画芸術 O D L	(仙)一九二二
91	「エジプト誌」	図版編8巻 超大型本	(英)一九六三

ナホレオンの科学委員会によるエジプト調査図録で
一八〇六年に第一巻刊行以後三三年迄に全25巻刊行
その内の主なる図版巻八巻を取める。価格三、〇〇〇
(幣店在庫日録発行中「秋号」送料七円 切手可)

千 604 京都市中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話(〇七五)八一—一三八九〇

- 1 大法炬陀羅尼經第9 折帳写経 平安後期 五,000
- 2 小笠原近江守筆 書狀一通 三,800
- 3 宗須筆 時代色紙3枚 虫入 三,000
- 4 姓名花押判断所 沙門一葉審定 安政6 三,000
- 5 メスデル阿蘭陀流金瘡加須波留一流外科医書元禄2 三,000
- 6 豊藏坊信海筆 書狀一通 一五,000
- 7 馬相秘伝書 下川半右衛門 一卷 寛保2 一五,000
- 8 上州群馬郡和田山村松本家 家系一卷 文政3 五,000
- 9 種田流箱初段之伝七箇条木村新助伝書 安政3 三,000
- 10 九日新誌一輯全部限愛知旭廊木版地図人 明10 一五,000
- 11 樹山先生筆 書札肉筆手本一卷 右筆用 一五,000
- 12 幸流 鼓 許狀一紙 幸悟朗筆 大8 三,000
- 13 聖上グラントとの会話筆記 宮内省秘録 明12 一五,000
- 14 雪暉筆 句入り書翰一通 明28 一五,000
- 15 山元春筆 書翰一通画像が署名東閣宛 明 一五,000
- 16 皇都書画人名録 弘化4 一五,000
- 17 桃や又右衛門廻状一通本町ふさや道秀宛 元和8 五,000
- 18 稲葉丹後守正誼筆書狀一通 虫入傷 淀城主 五,000
- 19 兵法御守秘密真言口伝 一紙 二,800
- 20 心秘口伝之巻 伊達宗正写 三,000
- 21 紺術大田鏡流表巻12鈕之巻森祐庵蝸川宗貞貞享2 三,000
- 22 美作守平信昌 略磨一紙 三,000
- 23 公武大体器記 写本 明応2 三,000
- 24 城建築 口伝書 初欠 江戸末 一五,000
- 25 軍馬乗要書 竹居卿右衛門秘伝書 寛政3 一五,000
- 26 所縁之者安閣寺拜見仕度奉願候河内屋道春状江戸末 三,000
- 27 通信文化記念絵葉書 2枚 昭3 二,000
- 28 生田流琴千代沢検校筆 免許状一紙 明32 一,800
- 29 上泉常陸之助武田家伝 軍配物語之書一通 三,800
- 30 水野出羽守殿御渡御書付之写 他見無用天明7 三,800
- 31 京都地図 明25 一五,000
- 32 永井空山書状 花押入大名書狀一通 三,800
- 33 天敵筆 准堤陀羅尼 画賛一紙版彩色虫入小品 八,000

- 34 大藏流 免許状一通 文政6 三,800
- 35 秘事秘伝 2冊(神授手品略記) 黒田菊山筆 明15 八,000
- 36 高田義甫筆 二行詩一紙 明14 二,000
- 37 皇城痘疫法橋佐井開庵筆 一物一紙 天保13 五,000
- 38 遠州長上郡三河鳴村検地割符状3通 宝曆頃 五,000
- 39 田伊幽石筆 猿の三番叟図画賛一紙しみ有 二,500
- 40 香原大船夫ざれ歌アト小口返道のたヨ港に異国船一紙 三,000
- 41 平野五岳筆 書翰一通郵便脚夫画用箋使用 江戸末 八,000
- 42 陰陽師保景筆 御首途日時占書一通 江戸末 三,800
- 43 花山院家厚卿筆 書翰一通 汚 文久2没 三,800
- 44 伏見御香宮永代奉願俳諧之発句集本告紙 明治初 二,500
- 45 茶人町田円齊筆 書狀一通濃州の人 汚しみ 八,000
- 46 中院通躬公筆 和歌一紙 文政4没 三,800
- 47 香川黄中筆 小色紙 文政4没 三,800
- 48 黄檗25世文秀華頂和尚筆 六字名号小品一紙 三,800
- 49 山田翠雨筆 横物一紙 撰津中村の人 明8没 二,500
- 50 河上丈太郎筆 詩一紙 小品 三,000
- 51 土師清二筆 山伏手討事件 原稿2枚以下欠 三,800
- 52 長谷川春子筆 菊五郎の巻 原稿8枚 五,000
- 53 土田杏村筆 支那の古陶 原稿11枚 八,000
- 54 藤島亥次郎筆 奈良十輪院 原稿5枚 三,000
- 55 中野実筆 掃還まへがき 原稿10枚 八,000
- 56 金原省吾筆 宗教画の推移 原稿12枚 五,000
- 57 白鳥省吾筆 童謡信子手 原稿2枚 一五,000
- 58 映画女優優五月信子大きいスケール 原稿2枚 五,000
- 59 伊藤廉筆 パリの夏 原稿3枚 五,000
- 60 興地葆晃筆 上海事変の過日にあつて原稿6枚 三,000
- 61 石川千代松筆 象の下巻砂本氏の著に就て原稿一枚 三,000
- 62 武田豊四郎筆原始仏教に於ける理想的な女性原稿10枚 五,000
- 63 太宰不二丸筆 ヨーロッパからの手紙 原稿12枚 三,000
- 64 菊地光弼筆 書狀一紙 島田蕃根宛 虫入 三,000
- 65 平安高樹院任職大津真隆筆 矯正成俵一紙 三,000
- 66 正眼院絵図 一紙 彩色図 江戸末 八,000
- 67 紙漣重宝記 寛政10の大14複製 一五,000
- 68 四明山曼珠院跡長慈入道親王諸法実相歌一紙 五,000
- 69 海東郡勝幡村 絵図一紙 明治初 五,000
- 70 菓子ようかん造り方秘録 虫入 江戸末 一五,000
- 71 西大寺一世親尊上人筆吉祥天女念誦次第 弘安元 一五,000
- 72 久我前右大臣筆 和歌一紙 三,000

- 73 祇園祭礼信仰記 豊竹越前小椋 宝曆7 一五,000
- 74 明治皇帝神武天皇陵へ御参幸の節御祝詞木版 明10 三,000
- 75 一弓一前之大事氏隆快水護身術 天正12 一五,000
- 76 小堀遠州筆東海道旅行記京箱根末尾欠無署名 八,000
- 77 青蓮院尊純親王筆和漢朗詠集了意極書傷物 元和9 一五,000
- 78 陶製 帖鎮一個尊作堂印形品川彌二郎35年記念 八,000
- 79 京都市美工校長今泉雄作自筆京都市後素協会説詞 明29 五,000
- 80 大石良雄ゆかりの三味線初音之図扇子一本 安政4 三,000
- 81 円融院行妙法経王中為経経是故取前可廻向中 天正13 三,000
- 82 靈神丹 秘伝書 一通 高橋新藏 享和3 三,800
- 83 頼三樹先生自筆 行書手本帖 折帳 三,000
- 84 建築許可願書 図面三通 東福寺境内 安永7 三,000
- 85 絵本家名盡 富小路四条清水屋刊 江戸末 一五,000
- 86 都の花競大西龜太郎編京全廓芸娼妓美人名 明11 一五,000
- 87 都の賑ひ 安政4 一五,000
- 88 和宮様お目出度に就て將軍家の品々名一卷初欠 三,000
- 89 西国33ヶ所奉納朱印布 一枚 三,000
- 90 桑木嚴翼推尾辨匡石原鎌天野貞祐ハガキ各一枚 三,000
- 91 永井潜儀原助村大塚保治長谷川萬次郎ハガキ各一枚 二,000
- 92 鈴木博也上野直昭野々村松三大脇義一ハガキ各一枚 二,000
- 93 増田惟茂速水漫千葉胤成高瀬次郎ハガキ各一枚 二,000
- 94 京鶴土鶴線に関する報告書一通 明21 三,000
- 95 蒲生郡牛之郷村 水宮図2紙 江戸末 一五,000
- 96 久米道沖筆書翰一通彦根の人六角堂町住 文政頃 三,800
- 97 公儀御法度条々 一卷 文化14 五,000
- 98 近江国諸職人中条々朱印写 信長秀吉一紙 三,000
- 99 短冊 加茂季鷹 三,000
- 100 長藩勤王志土京大阪十津川苦心旅行記 慶応元 三,000
- 101 貞永式日一卷初欠真宗綿織寺門主宗崇筆 元和3 三,000
- 102 金剛界私至次第 聖尊筆 文安2 三,000
- 103 京都市街全圖 明27 一五,000
- 104 塗師春奇筆 茶器納入覚状一紙 明治初 三,800
- 105 大西浄雪筆 茶器納入覚状一紙 明治初 一五,000
- 106 永染善五郎筆 茶器納入覚状一紙 明治初 三,800
- 107 飛采一閑筆 茶器納入覚状一紙 明治初 三,800
- 108 指物師利有筆 茶器納入覚状一紙 明治初 三,800
- 109 楽吉左衛門筆覚状茶器納入一紙 明治初 五,000
- 110 大阪城仕寄之図 両重合戦陣形図 五,000

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(〇七五)三五二一九三六三
振替 大阪 七二二二五五一

- 1 珍本奇門遁甲 古今図書集成 七、〇〇〇
- 2 命学大辞淵 梁湘潤 五、〇〇〇
- 3 淵海子平註 徐榮吾 一、〇〇〇
- 4 命理革新子平科言 徐榮吾 二、五〇〇
- 5 造化元論 徐榮吾 二、五〇〇
- 6 三命通会 古今図書集成 二、七〇〇
- 7 張果老星宗大全 陸位輯校 一、五〇〇
- 8 奇門遁甲全書 張子房 一、五〇〇
- 9 奇門遁甲研究 孔日昌 一、〇〇〇
- 10 地理秘旨 楊幼松 二、八〇〇
- 11 地理秘旨・撰撰秘要・天元烏免経直解 楊幼松 二、八〇〇
- 12 驚頭通書火全 一冊 五、〇〇〇
- 13 乾神法笈 一冊 一、〇〇〇
- 14 茶夏神相 張京英 一、〇〇〇
- 15 三元堪輿奧秘 黃朝全 二、八〇〇
- 16 三元地理弃惑 曾子南 一、五〇〇
- 17 命理通鑑 尤達人 一、五〇〇
- 18 命理通鑑 尤達人 一、五〇〇
- 19 命理学大生 李康節 一、〇〇〇
- 20 新命理探原 鎮江袁樹珊 二冊 二、〇〇〇
- 21 星平会海全書 水中龍 一冊 二、〇〇〇
- 22 壬学大成六壬編 虞山蔣開天 一冊 一、五〇〇
- 23 中西相命学 鬼谷子 六〇〇
- 24 中西相人探原 袁樹珊 二冊 二、〇〇〇
- 25 柳莊相法攷証 鄭文耀 一、〇〇〇
- 26 麻衣相法孝証 鄭文耀 一、〇〇〇
- 27 紫微秘秘 陳信齋 一、〇〇〇
- 28 地理陽宅大全 許明子 三、三〇〇
- 29 象吉通書 魏明遠 六、五〇〇
- 30 靈驗神符大觀 太土老若伝 一、〇〇〇
- 31 靈驗神符大觀 太土老若伝 一、〇〇〇
- 32 靈驗神符大觀 李泰來 一、〇〇〇

〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入
(京都大学前)

井上書店

電話(〇七五)七八一三三五二
振替 京都 七二二四九七

- 1 道家の思想と其の展開 津田左右吉 昭14 五、〇〇〇
- 2 支那社会構成 秋澤修二 昭14 三、〇〇〇
- 3 諸子概説 武内義雄 昭15 二、四〇〇
- 4 支那上古史 内藤虎次郎 昭19 二、〇〇〇
- 5 古代支那史要 岡崎文夫 昭19 一、七〇〇
- 6 支那倫理学史 蔡元培著 昭16 二、〇〇〇
- 7 中国通史 第一編上 范元瀾著 昭33 五、〇〇〇
- 8 日本古代国家 藤間生代 伊藤書店 昭21 二、五〇〇
- 9 支那上代之研究 林泰輔 進光社 昭19 三、〇〇〇
- 10 古代支那研究 小島祐馬 弘文堂 昭18 三、〇〇〇
- 11 世界歴史大系10 中央アジア史 印度史 昭11 二、〇〇〇
- 12 世界歴史大系2 東洋考古学 平凡社 昭8 二、〇〇〇
- 13 世界歴史大系3 東洋古代史 篇 昭9 二、〇〇〇
- 14 世界歴史大系4 東洋中世史 篇 昭9 二、〇〇〇
- 15 世界歴史大系5 東洋中世史 第二篇 昭9 一、六〇〇
- 16 満洲写真帖 東京堂 昭4 一、〇〇〇
- 17 新訳ゴーガン モリス著 萬里閣 昭21 一、五〇〇
- 18 レフランド(芸術哲学試論)ジメル岩波美術叢書 昭2 三、〇〇〇
- 19 大和古寺 井上政次 日本評論社 昭17 一、五〇〇
- 20 神話 解釈学的考察 高坂正顯 岩波 昭15 一、五〇〇
- 21 芸術の創造と歴史 井島勉 弘文堂 昭21 二、〇〇〇
- 22 イタリアとドイツの芸術復興期の芸術ヴェルフィン 昭18 二、〇〇〇
- 23 美学 山際 靖 朝倉書店 昭17 一、七〇〇
- 24 現代ヒルマの全貌 太平洋問題調査部 同盟通信社 昭18 二、〇〇〇
- 25 視覚構造 植田壽蔵 弘文堂 昭16 一、八〇〇
- 26 統計方法論史 ウォーカー著 足利辻訳 昭34 一、七〇〇
- 27 ルッターの根本思想 佐藤繁彦 昭8 二、〇〇〇
- 28 戦後日本の労働争議 藤田・塩田 御茶の水 昭38 三、五〇〇
- 29 日本帝国主義と議会 前島省三 昭51 一、八〇〇
- 30 国家社会学 マックス・ウェーバー 昭44 一、二〇〇
- 31 マーシャル経済学原理 揃4 東洋経済 昭47 九、〇〇〇
- 32 ダーム・ギヤラント 上下2冊 限定河出 昭25 五、〇〇〇
- 33 南方熊楠全集 2・3・4・7・8巻 分売 昭46各二、六〇〇

出町と衣笠 (株) 善書堂

出町店 〒602 上京区河原町通今出川上ル
電話(〇七五)二二一七七一
衣笠店 〒603 北区西大路通平野神社北隣
電話(〇七五)四六二一三七一

★出町店・英米文学研究書在庫案内★

アメリカ小説研究(佐久間) ■イェイツ詩集(尾島) ■山宮允著作選集 ■現代詩論(ルイス) ■英語詳釋(山宮) ■エリオットの芸術論(深瀬) ■近代英国の諸断面(石田) ■ハーデいの文学研究(大沢) ■英文学研究(工藤) ■信仰の告白(石田) ■十八世紀における英文学と社会(岡本) ■現代英文学の研究(志賀) ■日本現代劇の動向(山本) ■詩の用と批評の用(岡本) ■英米現代劇の動向(山本) ■書誌(山本) ■日本近世英文学史(重久) ■英語文叢攷(尾島) ■英詩から見た和歌形式論(八木) ■T・S・エリオット(荒川) ■ミルトン楽園喪失(藤井) ■英吉利現代批評文学(成田) ■北欧の海賊と英国文明(金子) ■英文学覚帳(戸川) ■英国文学鑑賞(沢村) ■西洋文学の日本発見(深瀬) ■近代英文学鑑賞(浜村) ■ジョン・パチエラーの手紙(仁多見) ■英国の社会と文学(小川) ■国際思想と英米文学(斎藤) ■現代英国の文学思想(荒川) ■英国の国家構造(深瀬) ■抒情詩集(斎藤) ■英詩と社会思潮(大和) ■アメリカ詩選(大和) ■英詩について(曾根) ■イギリス浪漫派詩人(加納) ■アメリカ文学の研究(石田) ■パインズ詩選(阪田) ■ブレイク詩選(土居) ■バイロン(鶴見) ■グロブ・メソッド(浦口) ■英米文学辞典(研究社) ■世界文学辞典(研究社) ■小泉八雲英文学史 ■日本英文学史の研究(豊田) ■哲人エマソン(松島) ■エマソン(志賀) ■エマソン人生論(戸川) ■エマソン代表偉人論(柳田) ■昆虫・言葉・国民(市河) ■土居光知先生喜寿記念論文集・英文学試論 齋藤勇博士古稀祝賀論文集・英文学研究 佐藤繁彦の著作とその研究 英国中部地方語の研究(細江) ■英語学(市河) ■言語学と国際語(高木) ■英語の生長と構造(イェセルセン) ■英語の現在と過去(エイク) ■イェセルセン言語学(市河) ■文体論(山本) ■言語学方法論考(小林) ■歴史的に見た英国の言語(廣岡) ■言葉の研究と言葉の教授(金子) ■誤用の言語(小泉) ■言語学ドイッ文学書も最近入手しました。只今、店内展示中です。★衣笠店には、考古学研究報告書が多数有ります★

千 604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一、五八八
振替 京都 〇七五 二二二一、五八八

32	日本文化と京都	禿氏祐洋	京都市観光課	昭17	四〇〇
31	陶化誌	中村直勝	京都市観光課	昭15	四〇〇
30	開智	京都市開智尋常小学校	昭15	五〇〇	
29	京都を中心とする校外教育	小学校教育会	昭13	七〇〇	
28	明治初期京都経済史	寺尾宏一	大雅堂	昭18	一〇〇〇
27	伏見酒造組合誌	其組合	昭37	四〇〇〇	
26	巨椋池下拓誌	巨椋池土地改良区	昭37	四〇〇〇	
25	大山崎史叢考	吉川一郎	創元社	昭28	一六〇〇
24	京都附近著名古戦史	鈴木友吉	文献出版	昭50	一〇〇〇
23	日次紀次	本文と索引	昭57	二〇〇〇	
22	我が郷土富本村	富本村青年団	昭25	三〇〇〇	
21	日本文学にあらわれた井手町	其編集委員会	昭50	一八〇〇	
20	京都府北桑田郡京北町	昭50	一〇〇〇		
19	宇治誌	宇治郡名勝誌	昭41	一五〇〇	
18	丹波山国隊史	水口民次郎	昭49	一〇〇〇	
17	丹波国黒田村史料	野田只夫	編纂委員会	昭41	三〇〇〇
16	丹波国山国村史料	野田只夫	史籍刊行会	昭30	五〇〇〇
15	何鹿郡誌	教育会何鹿郡部会	昭47	二〇〇〇	
14	丹後国竹野郡誌	新訂版	昭56	一四〇〇〇	
13	京都府南桑田・北桑田	船井郡誌	昭46	二〇〇〇	
12	京都府南桑田	北桑田	昭46	二〇〇〇	
11	都の魁	上下限	複製版	昭46	二〇〇〇
10	新撰京都名所図会	竹村俊則	7冊	昭47	三〇〇〇
9	京都むかしむかし	付・寛永水落細見図	昭42	三〇〇〇	
8	京都史話	魚澄惣五郎	西田書店	昭56	四〇〇〇
7	京都事典	赤松山本	昭44	四〇〇〇	
6	京都府の歴史	村井康彦	昭54	四〇〇〇	
5	京都の地名	日本歴史地名大系	昭54	八〇〇〇	
4	京都市の地名	日本歴史地名大系	昭54	八〇〇〇	
3	京都市の歴史	編年綱目	昭21	二五〇〇	
2	京都の歴史	学芸書林	昭43	三〇〇〇	
1	増補京都叢書	其刊行会	昭8	七〇〇〇	
33	京都名勝	京都市観光課	昭16	六〇〇	
34	京都の障壁画	京都市観光課	昭16	三〇〇〇	
35	京都の彫刻	京都市観光課	昭14	二五〇〇	
36	京都の仏画	京都市観光課	昭16	四〇〇〇	
37	京都史蹟古美術提要	北尾鑠之助	昭16	三〇〇〇	
38	京都散歩	京の名石見方と集め方	大内探行	昭39	一〇〇〇
39	京の石見方と集め方	大内探行	昭39	七〇〇	
40	京みやげ	京都市京菓子商業組合	昭12	二五〇〇	
41	西陣織物案内	英文	昭4	五〇〇	
42	井上流歌集	木版舞扇図入	昭16	二五〇〇	
43	花の百年	藤井大丸百年史	昭45	一八〇〇	
44	京都の市電	立風書房	昭55	二〇〇〇	
45	京都石造美術の研究	川勝政太郎	昭23	二〇〇〇	
46	京都石造美術	川勝政太郎	昭51	二五〇〇	
47	石造美術	京都美術大観	昭8	七〇〇〇	
48	京仏師六十年	松久明琳	昭8	六〇〇	
49	菅公頌徳録	北野神社事務所	昭19	六五〇〇	
50	比叡山とその自然と文化	京都市観光課	昭36	一八〇〇	
51	平野の名桜絵巻書	8枚	昭11	二五〇〇	
52	京都市記念動物園絵巻書	第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百	昭3	一〇〇〇	
53	若狭高浜遊覧案内	風光絵はがき	昭3	一〇〇〇	
54	天橋立・琉璃溪案内	ハンプレット	昭3	一〇〇〇	
55	丹後の宮津	史蹟と名勝	天橋立観光協会	昭33	七〇〇
56	増補新釈食道楽	村井弦齋	柴田書店	昭51	一八〇〇
57	食道楽	村井弦齋	昭51	一八〇〇	
58	台所重宝記	篠田統	昭53	四〇〇〇	
59	中国食物史の研究	坂口謙一	昭50	四〇〇〇	
60	古酒新酒	楠本憲吉	昭50	二五〇〇	
61	置酒歌謡	楠本憲吉	昭50	二五〇〇	
62	たべもの咄	楠本憲吉	昭51	一八〇〇	
63	たべもの歳時記	清水桂	昭51	一三〇〇	
64	味の歳時記	清水桂	昭51	一三〇〇	
65	味覚・味	辻嘉一	昭48	二五〇〇	
66	献立帳	御所見直好	昭53	二五〇〇	
67	日本の味	石毛直道	昭51	三〇〇〇	
68	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
69	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
70	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
71	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
72	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
73	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
74	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
75	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
76	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
77	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
78	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
79	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
80	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
81	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
82	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
83	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
84	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
85	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
86	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
87	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
88	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
89	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
90	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
91	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
92	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
93	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
94	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
95	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
96	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
97	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
98	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
99	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
100	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
101	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
102	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
103	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
104	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
105	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
106	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
107	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
108	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
109	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	
110	食卓の文化誌	文芸春秋	昭51	三〇〇〇	

江月宗玩

墨蹟之寫 禪林墨蹟の研究 上巻

竹内尚次著

本書は博多崇福寺に秘藏された、大徳寺一五六世江月宗玩禪師の、慶長十六年より寛永二十年にいたる禪林美術(墨蹟および着賛絵圖)の貴重な鑑定日録である。上段に江月禪師自筆本の写真版を、下段に釈文と註釈を付す。上巻には慶長十六年より元和九年までを収録する。禪林美術・仏教美術研究史上に輝く大著!!

A4判/豪華特装本/本文二〇〇頁 定価三四〇〇〇円

増訂 寰宇貞石圖 河井荃蘆監修 藤原楚水編纂

中国上古から漢魏六朝・唐代、および日本・朝鮮の著名石刻碑碣を加えた整本四七〇余種、六〇〇余図を集大成。すべてを縮印し碑形を明らかにすることを主眼にした大著。清人楊守敬三六〇余拓からなる同名の書の遺漏を補い、更に近年出土のもの百余を加えて面目一新、最も完備せるものと称されている。原本は昭和十四年刊、今回新たに詳細な解説を付す。書学・書道史研究者必携の名著。

B3変型判/豪華愛蔵版 定価六五〇〇〇円

竹田名蹟圖誌

外狩楽心庵纂編/田能村竹田の名作の数々を収録。詳細な解説、題詩語の釈文、論文集を付す。全2巻揃価98800円

先渡邊華山錦心圖譜

編集代表 鈴木栄之亮/昭和15年開催の没後百年記念大展覧会出陳作の全てを特写し編纂したもの。定価85000円

酒井抱一畫集

抱一上人眞蹟鏡三册 A3判・四方挿入 付巻『和綴巻』挿入 定価198000円

国書刊行会 千代田区豊島区巢鴨三五一八〇〇〇(9)17(8)287 小社の書籍は注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。

訓 禪林句集

柴山全慶老師輯 定価1,500円送料250円

仏教書取り揃えております 葉書にて御照会下さい。

其中堂 振替京都538 TEL.231-2971 千604 京都市中京区寺町通三条北

思わぬ出費!

その様な時、御利用下さい。

- ・出町店・京都市上京区河原町今出川上る ☎231-7711番
- ・衣笠店・北区西大路通り平野神社北隣 ☎462-3371番

ZENSHOD 本専門の質屋 善書堂

☆御用済の書籍については

京都古書研究会加盟店へ御相談下さい☆

能勢朝次著作集

全十巻

能勢朝次著作集編集委員会編 中世文学、能楽—
その大成者世阿弥について最も基礎的な考え方を
捉え、連歌、俳諧、芭蕉に関して先駆的な研究を
なした著者の論考を、全十巻の著作集として刊行。

最新刊発売中

近世和歌研究

▼ A5判・四九〇頁/定価六、四〇〇円
*全巻予約特価六、一〇〇円

- 1 国文学研究 (第十四)
- 2 中世文学研究 (既刊)
- 3 近世和歌研究 (既刊)
- 4 能楽研究 (一) (既刊)
- 5 能楽研究 (二) (第八回)
- 6 能楽研究 (三) (既刊)
- 7 連歌研究 (既刊)
- 8 連歌俳諧研究 (既刊)
- 9 俳諧研究 (一) (第九回)
- 10 俳諧研究 (二) (既刊)

陽明叢書

記録文書篇

全十巻
別冊一冊

監修 近衛通隆 / 編集顧問 熱田公・益田宗 / 編集 (財)陽明文庫

「御堂関白記」を筆頭とする各歴代関白記ほか、各時代ごとの種々の記録・文書を一般研究者の需に応じ上梓。

巻	収録内容	全五冊
第一輯	御堂関白記(一)~(五)	全五冊
第二輯	岡屋関白記・深心院関白記・後知足院関白記	全三冊
第三輯	後法成寺関白記(一)~(三)	全三冊
第四輯	愚昧記・永昌記・大府記ほか	全四冊
第五輯	人車記(一)~(四)	全四冊
第六輯	平記・範輔記	全四冊
第七輯	法制史料集	全四冊
第八輯	名家消息集	全三冊
第九輯	紙背文書集(一)~(三)	全三冊
第十輯	所領関係文書集	全三冊

日本人名辞典

増訂 古画備考

全四巻

朝岡興禎著・大田謹輔
A5判/定価揃(三)〇〇〇円

芳賀矢一編▽収録人数五万余名 B6判/定価六、五〇〇円

本社 京都市左京区田中関町2-7 千606 (075)751-1781

思文閣出版

支社 東京都千代田区三崎町2-20 千101 (03)263-6348

最新刊

京阪神聯合保育會 編

京阪神聯合保育會雜誌

〔復刻版〕

全五巻 付別冊総目次

自創刊号(明治31年)~至五〇号(昭和2年)

明治三十年に設立された「京阪神連合保育會」の機関誌。同翌年より昭和初期に至る関西地区幼稚園の保育の実態や状況報告、或いは関連統計資料などがつぶさに記録され、幼稚園草創期の貴重な文献として、ひいては我が国幼児教育史の根本資料として必備のものといわれている。

京都大学名誉教授 浜田 敦 著

續朝鮮資料による日本語研究

古代語から近代語への過渡期にあたる十六世紀を中心とする、キリシタン、シナのものや並び、当時の日本語の史的資料として朝鮮語、朝鮮資料が独自の価値を持つものであることはいままでもない。本書には、前著「朝鮮資料による日本語研究」(岩波書店刊)に比してより朝鮮資料の重要性を、音韻・語法・語彙の各面から説かれたもので、国語史の研究に必読の書。

梅尾祥雲 著・梅尾祥瑞 編

弘法大師の宗教

—生きぬく宗教—

弘法大師の宗教を「真言密教」と呼ぶ。大師の著「秘藏宝鑰」に「真言密教は法身の説、秘密金剛は最勝の真なり」とある。この宗教体系の中核を軸とし、永遠に生きぬく大師の宗教の真髓を平易に説かれた名著の新訂版。



臨川書店

本社 京都市左京区今出川通川端東入50M ☎075-721-7111
東京支店 千代田区飯田橋四一七一六 ☎03-263-4320